

関わり続ける定住のカタチの実践による
「結の故郷」づくりに向けた基礎的研究

報告書

令和8年3月

関西大学環境都市工学部

研究内容

- ・市内の人の動きを踏まえた交流の状況分析
- ・地域住民や団体との協働による横町スタジオの活用及びエリアマネジメントの実施
- ・横町スタジオ等の拠点を中心とした関わり続ける定住の実施

目次

第1章 序論.....	1
1.1 研究の背景.....	1
1.2 研究の目的.....	1
1.3 高規格幹線道路の位置づけ.....	1
第2章 本研究の位置づけ.....	3
2.1 既存研究の整理.....	3
2.1.1 高速道路の整備効果に関する研究.....	3
2.1.2 観光行動および自動車旅行に関する研究.....	4
2.2 本研究の位置づけ.....	5
第3章 研究方法.....	6
3.1 研究の流れ.....	6
3.2 研究対象.....	6
3.2.1 中部縦貫自動車道の整備状況.....	6
3.2.2 現地走行調査による該当区間の概要.....	7
3.3 高速道路利用者の実態把握.....	9
3.3.1 アンケート調査の概要.....	9
3.3.2 アンケートの設問内容.....	10
3.4 基準アクセス時間による評価.....	11
3.4.1 ネットワーク解析の設定.....	11
3.4.2 開通前後の所要時間比較.....	12
第4章 アンケート結果に基づく行動パターン分析.....	13
4.1 データと分析変数の整理.....	13
4.2 自動車旅行における行動パターン分析.....	14
4.2.1 単純集計による基礎的傾向の把握.....	14
4.2.2 クロス集計による行動分析.....	17
第5章 おわりに.....	24
5.1 本研究のまとめ.....	24
5.2 今後の展望.....	24
参考文献.....	25

第1章 序論

1.1 研究の背景

近年、日本国内においては高速道路網の整備が進められており、地域間の移動環境は大きく変化している。国土交通省においても、高速道路は地域間交流や観光振興を含む人流の円滑化に資するインフラとして位置づけられており、移動時間の短縮や利便性の向上を通じた地域活性化が期待されている¹⁾。

一方で、道路整備がもたらす効果は都市の規模、地理的条件、地域の特性によって異なり、すべての地域において一律な効果が生じるとは限らない。新たな交通インフラの整備においては、移動時間の短縮効果そのものだけでなく、域内での滞在時間の確保や複数地点を訪問する周遊型の行動を前提としたルート形成の重要性が指摘されている²⁾。

また、特に、自動車を利用した観光移動においては、高速道路の利用と併せて、サービスエリアやパーキングエリア等での休憩や立ち寄りが一般的に想定されており、移動の安全性確保に加えて、旅行途中における滞在や地域との接点を生み出す役割が重視されている³⁾。

これらの観光行動の特性を踏まえると、走行時間の短縮のみを指標として道路整備の効果を評価することは、観光目的の自動車移動における実態を十分に反映できない可能性がある。また、観光行動は利用者の属性や同行者構成、旅行目的によって多様に分かれるため、同じ所要時間であっても、旅行時の移動行動や立ち寄り方には差異が生じることが示唆される。

本研究の対象とする福井県大野市においては、その市の中心部を中部縦貫自動車道（以下、中部縦貫道）が横断する形で事業化されている。2029年春の予定されている九頭竜IC～油坂出入口までの15.5kmの開通により県内全線が繋がることによって、中京圏・関東圏からの所要時間短縮が見込まれており、新たな来訪圏の拡大が期待されている⁴⁾。一方で、大野市は豊かな自然景観や歴史的町並みなどの観光資源を有しながらも、これまでのアクセス条件の制約等から、大野市を訪れる観光客をターゲットとしての来訪者の伸び悩みが課題である⁵⁾。また、中部縦貫道開通を背景とした地域別・属性別の効果が不明であり、大野市から各地域への誘致戦略のターゲティングが困難という課題がある。

1.2 研究の目的

上述の背景を踏まえ、本研究は、中部縦貫自動車道の整備が進展する中で、大野市に来訪可能性がある層の属性や志向による行動パターンの違いを明らかにし、大野市における観光誘致施策や受入環境整備に資する基礎資料を得ることを目的とする。

1.3 高規格幹線道路の位置づけ

高規格幹線道路は、高速自動車国道および一般自動車専用道路から構成され、一般的に自動車が高速で走れる構造で造られた自動車専用道路のことを指す⁶⁾。本研究の対象である中部縦貫自動車道は、高規格幹線道路に該当する一般国道自動車専用道路であり、地域の円滑な移動を担う重要な交通インフラである⁷⁾。

既存研究においては、「高速道路」という用語を用いながら、高規格幹線道路を分析対象として包括的に取り扱っている事例が多くみられる。これは、道路の制度上の区分や料金体系の差異よりも、自動車専用道路としての機能や利用者の移動行動・経路選択といった利用実態に着目した分析が主眼とされているためであると推察される。

以上を踏まえ、本研究では、高規格幹線道路、高速自動車国道および一般国道自動車専用道路を総称して「高速道路」として取り扱う。そのうえで、高速道路の利用実態に基づき、利用者の行動パターンやアクセス時間の評価を行う。

第2章 本研究の位置づけ

2.1 既存研究の整理

2.1.1 高速道路の整備効果に関する研究

高速道路の整備効果に関しては、国全体のマクロ経済や人口分布に与える影響についての計量的な分析が行われている。片岡ら（2019）⁸⁾は、高速道路の新規整備が国民経済と国土構造に与える影響を分析しており、その結果、高速道路整備は実質 GDP の向上に寄与し、一定のマクロ経済改善効果をもたらすことが確認されている。一方で、整備シナリオによっては大都市圏（特に関東圏）へのさらなる人口・経済力の集中を招き、かえって地方部の衰退を促す危険性があることも示唆されている。同様に、上田ら（2020）⁹⁾は既存高速道路ネットワークがマクロ経済および地域間の人口・経済力分布に与えた長期的効果を定量化するため、シミュレーションモデル（MassRAC）を用いて、実際に整備された場合と未整備のシナリオを比較分析した。評価によれば、ネットワークの進展が国全体の生産性向上に寄与する一方で、地域間においては人口や経済活動の分布に偏在をもたらす可能性について論じられており、道路整備が必ずしも一律にすべての地域の活性化をもたらすわけではない点が指摘されている。

田部井ら（1995）¹⁰⁾は、地方部における高速道路整備の影響について、各自治体の人口データ等を用いた分析を行っており、高速道路整備の影響はすべての地域に同一には現れず、整備前の地域特性（都市機能集積度や工業集積度）によって変化の現れ方が異なることが明らかにしている。特に人口規模が小さく、第一次産業構成比が高い都市では、整備効果による地域変化が現れにくい傾向が示されており、地方都市における効果発現の難しさが指摘されている。

近年では、交通需要変動の影響を受けない物理的な評価や個々の利用者行動に着目した分析も進められている。安藤ら（2020）¹¹⁾は、将来の不確実な交通需要に依存しない評価手法として、Network Topology 指標（固有ベクトル中心性等）を用いた長期的な整備効果の検証を試みている。この研究では、物理的ネットワーク構造の変化が地域の供給能力に与える影響を定量化し、構造的な観点からのアクセス性評価として有用な知見を得ている。山崎ら（2010）¹²⁾は、新規高速道路の供用効果を評価する際、従来の断面交通量や旅行速度といった量的な指標のみでは把握が困難であった個人の具体的な行動変容を捉えるため、ETC データを用いた分析手法を提案した。具体的には、新名神高速道路の開通（2008 年）を対象に、滋賀県湖南地域のインターチェンジを利用する多頻度ユーザーの行動履歴を追跡調査した。分析の結果、新路線の開通は単に交通量を増加させるだけでなく、利用者の目的地や車種（特に大型車）に応じて、既存の名神高速道路と新名神高速道路を柔軟に使い分ける行動を誘発していることが明らかになった。また、クラスタ分析を用いた検証により、利用インターチェンジを完全に変更する転換型のユーザーだけでなく、状況に応じて複数のインターチェンジを選択肢とする使い分け型のユーザーが存在することを定量的に示し、個人の行動履歴に基づく分析が、路線共用に伴う交通の質的な変化を把握する上で有効であると結論付けている。

2.1.2 観光行動および自動車旅行に関する研究

道路整備効果をミクロな視点で捉えるためには、利用者の属性や選好が観光行動に与える影響を理解する必要がある。尾高ら（2011）¹³⁾は、個人の観光行動の変容メカニズムを解明するため、集計データだけでなく観光統計の個票データを用いた時系列分析および共分散構造分析を行った。分析の結果、観光行動への嗜好は時代の影響よりも加齢による影響を強く受けており、若年層は活動型、高齢層は癒し型へと推移する傾向が示された。また、30～40代は時代の変化に感応しやすい一方で、宿泊観光の参加頻度を向上させるには、単なる年齢属性ではなく、具体的な活動内容ごとの旅行志向を考慮したターゲット設定が不可欠であると結論付けている。小平ら（2014）¹⁴⁾は、尾高らの研究を発展させ、観光目的の移動において主要な役割を果たす自動車利用の実態に焦点を当て、「国民の観光に関する動向調査」と「全国道路・街路交通情勢調査高速 OD 調査」の双方の個票データを用いた時系列分析を行った。その結果、自動車の利用選択に対しては、移動距離以上に“旅行形態”と“目的地での活動内容”が強い影響を持つことが示された。また、高速道路利用実態の分析からは、多くの主要観光地において出発地の構成比率は長期間安定しており、商圈が固定化されている傾向が確認されたものの、一部ではETC割引施策等の影響により商圈が広域化する現象も見られ、観光施策の立案には発地側の特性や移動経路を考慮した広域的な視点が不可欠であると結論付けている。

ETC2.0やカーナビゲーションのプロープデータ等の活用により、旅行中の具体的な立ち寄り行動や周遊パターンの実態解明も進められている。佐々木ら（2018）¹⁵⁾は、首都高速道路におけるパーキングエリア（PA）の利用実態を精密に把握するため、従来の車両感知器やヒアリング調査に代わり、ETC2.0プロープ情報を活用した分析を行った。分析の結果、ETC2.0データは従来の感知器データと高い相関を持ち、代替データとして十分な妥当性を有することが確認された。また、PAごとの利用特性として、「短時間の休憩利用が主体のPA」と時間調整や仮眠を含む「長期滞在が見られるPA」の分類を行い、利用者の目的や車種に応じた施設機能の差別化やサービス提供の可能性を示唆した。中塚ら（2015）¹⁶⁾は、休日の中央自動車道上り線で発生する渋滞の緩和策として、ピーク時の交通需要を分散させる観光周遊（立ち寄り）の促進に着目している。カーナビゲーションシステムのプロープデータを用いて、渋滞発生時に該当ボトルネックへ到着する車両の到着前の周遊行動を追跡分析した。結果から、帰宅時間のピークを分散させるためには、夕方以降の時間帯に魅力的な立ち寄りスポットや滞在動機を提供することが有効であると論じている。また、小林ら（2023）¹⁷⁾は観光地からの帰宅行動において、渋滞回避や地域消費拡大の観点から重要となる帰宅途中の立ち寄り行動の実態とその滞在時間を規定する要因を分析している。分析の結果、帰宅途中の立ち寄りは道の駅や幹線道路沿いの施設での短時間滞在が主体であるものの、経路検索時に大規模な渋滞（25km以上）を認知している場合や、立ち寄り先が温泉・アミューズメント施設である場合には、滞在時間が有意に長期化することが定量的に示された。これは、利用者が渋滞情報を踏まえて時間を消費（調整）するという合理的な行動をとっていることを示唆しており、適切な情報提供や施設整備が滞在時間の創出に寄与すると結論付けている。

2.2 本研究の位置づけ

既存研究の整理から、高速道路の整備はマクロな視点では経済成長や生産性向上に寄与するものの、地方都市においてはその効果が一様ではなく、ストロー効果などの負の側面も懸念されることを確認した。地方都市が整備効果を楽しむためには、物理的なネットワーク接続だけでなく、利用者の属性や行動特性に即した誘致戦略が不可欠であり、移動時間短縮に加え、道中の立ち寄りや周遊を含めた「移動の質」を評価することが重要である。

一方で、既存の評価手法では、マクロ経済モデルや人口分布モデルを用いた定量的評価は確立されているものの、これらはいくまで広域的な流動変化や経済指標の推計に留まっており、個々の観光客の具体的な来訪プロセスや行動変容までは捉えきれていない。利用者行動や立ち寄りに関するミクロな研究においては、その多くが渋滞回避や休憩施設の管理といった交通工学的な課題解決を主眼としており、立ち寄り行動や休憩頻度などを新規路線のアクセス性評価や地方都市の観光戦略へ適用する段階には至っていない。したがって、利用者の行動実態や立ち寄り選好を踏まえていない単純なアクセス時間のみを裏づけとした整備効果の評価は、必ずしも大野市のような地方都市への来訪者数増加を説明できるとは限らず、合理的な観光戦略とならない恐れがある。

そこで、本研究では、個人の属性や立ち寄り行動・休憩行動を考慮した実態分析を行うこととする。これにより、誰にとって実質的なアクセス性が向上するのかを知り、具体的なターゲット選定や観光戦略に資する整備指針を示すこととする。

第3章 研究方法

3.1 研究の流れ

本研究は、以下図 3-1 に示す手順で進行する。

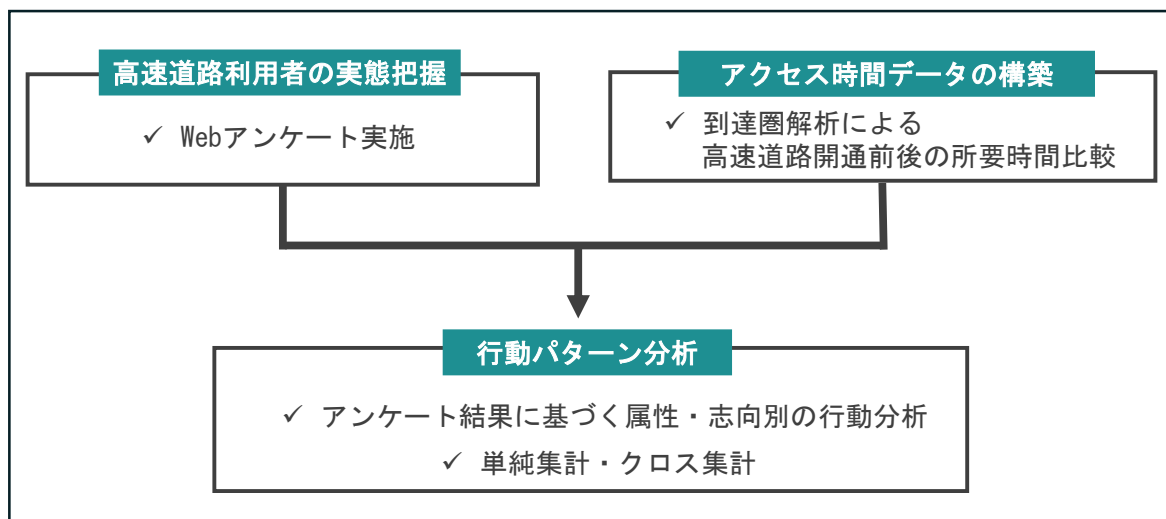


図 3-1 研究の流れ

3.2 研究対象

3.2.1 中部縦貫自動車道の整備状況

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点とし、岐阜県飛騨市・福井県大野市を經由し福井市に至る、総延長約 160km の高規格幹線道路である（図 3-2）。本道路は、中央自動車道、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡し、広域的な交通ネットワークを形成するとともに、災害に強い信頼性の高い道路網の確保、地域・観光資源を生かした地域経済の活性化、医療活動の支援を目的としている²¹⁾。

本研究が着目する大野市の区間においては、「大野油坂道路」と位置付けられており、大野インターチェンジ（以下、IC という）から岐阜県境の油坂峠道路に接続する油坂出入口（仮称）までの 35km の区間となる。この区間は、急峻な地形や豪雪地帯を通過する難所であり、現在の唯一の動線である国道 158 号は、線形不良や異常気象時の通行規制といった課題を抱えていた。

整備状況としては、2023 年 3 月に大野 IC～勝原 IC 間が、2023 年 10 月には勝原 IC～九頭竜 IC 間が開通し、福井県内の未開通区間は九頭竜 IC～油坂出入口までの 15.5km を残すのみとなっており、2029 年春の開通が予定されている⁷⁾。



写真 3-1 道の駅 九頭竜の様子
(撮影日時：2025 年 11 月 23 日 13 時頃)



写真 3-2 道路整備の様子
撮影場所：(大野市箱ヶ瀬付近)

表 3-1 道の駅 九頭竜で確認できた駐車中車両のナンバープレート一覧

福井	岐阜	石川	金沢	富山	名古屋	尾張小牧
浜松	滋賀	京都	大阪	神戸	奈良	徳島
湘南	横浜	千葉	土浦	所沢	群馬	

● 整備効果の推察

大野市上半原付近では、2025 年 3 月 19 日に大規模な斜面崩壊が発生し、広い範囲にわたって土砂が流れ落ち、道路を完全に閉塞させた。この崩壊によって国道 158 号（大野市上半原）から中部縦貫自動車道（白鳥 IC）の区間が全面通行止めとなった。同年 7 月には仮設道路が整備され、対面通行が可能となったが、現道の脆弱性と代替路としての中部縦貫自動車道整備の

必要性が強く再認識された²⁵⁾。一方で、並行して整備済みの中部縦貫自動車道（九頭竜 IC～勝原 IC 間）では、並行する国道 158 号の交通量が著しく少なく、通過交通の大部分が中部縦貫自動車道へと転換している様子が確認された。

以上の現地調査から、中部縦貫自動車道は福井県と岐阜県をつなぐ動線として、アクセス性の向上、災害時の代替道路の確保など重要な役割を担うことが確認できた。

3.3 高速道路利用者の実態把握

3.3.1 アンケート調査の概要

本研究では、個人の属性と高速道路利用時の行動特性を紐づけて詳細に分析し、大野市への来訪ポテンシャルが高い層を特定すること、および後述する詳細アクセス時間の算出に必要な基礎データを得る目的として、Web アンケート調査を実施した。アンケートの対象は中部縦貫自動車道の開通による訪問の影響が大きいであろう 6 県を対象とし、割付構成比の詳細を表 3-3 のように設定した。なお、サンプリングにおける地域的な偏りを排除するため、対象となる市町村を地理的な近接性に基づき複数のブロック（地域区分）に集約し、サンプルを回収した。

表 3-2 アンケートの調査概要

調査時期	2025 年 12 月 9 日～12 月 12 日	
調査方法	Web アンケート調査 (調査協力：株式会社マクロミル)	
対象地域	富山県，石川県，福井県，長野県，岐阜県，愛知県に居住の方	
回答数	324 サンプル	
割付数	福井市ほか：31，加賀市ほか：14，金沢市ほか：14 七尾市ほか：8，南砺市ほか：4，高岡市ほか：6 富山市ほか：16，佐久市ほか：11，茅野市ほか：5 伊那市ほか：10，飯田市ほか：5，松本市ほか：44 大町市ほか：8，長野市ほか：7，飛騨市ほか：15 関市ほか：24，美濃加茂市ほか：10，岐阜市ほか：32 多治見市ほか：6，大垣市ほか：14，瀬戸市ほか：15 名古屋市ほか：13，岡崎市ほか：12	
回答年代	男性	10 代：2，20 代：11，30 代：12，40 代：40 50 代：50，60 代以上：69
	女性	10 代：3，20 代：15，30 代：31，40 代：31 50 代：33，60 代以上：27
項目数	最大 25 問	

表 3-3 サンプル割付構成比

地域区分	定義（大野市を中心とする）	割付比 （地域区分の総人口に対して）
沿線・近隣	60km 以内＋中部縦貫道沿線	33%
中距離圏	60km ～ 80km	23%
遠方	80km 以上＋福井県	44%

3.3.2 アンケートの設問内容

アンケートの設問内容は表 3-4 の通りである。問 1～問 10 は属性や普段の旅行に関する質問、問 11～問 16 は直近の高速道路を利用した自動車旅行を思い出し、回答する質問内容となっている。問 17～問 25 は大野市の認知・訪問有無・訪問意向や中部縦貫道に関する質問に用を設定している。

表 3-4 アンケートの設問内容

問 1	同居家族に関する質問
問 2	保有自動車の種類に関する質問
問 3	車での長距離移動の頻度に関する質問
問 4	車での日帰り旅行において上限の片道時間に関する質問
問 5	長距離移動の際の休憩頻度に関する質問
問 6	休憩時の平均滞在時間に関する質問
問 7	高速道路走行時の走行スタイルに関する質問
問 8	過去 1 年以内に訪れた観光地に関する質問
問 9	日帰り旅行でよく訪れる地域に関する質問
問 10	旅行先選定時の重視ポイントに関する質問
問 11	自動車旅行の目的に関する質問
問 12	自動車旅行の目的地に関する質問
問 13	自動車旅行の立ち寄り場所に関する質問
問 14	自動車旅行の出発時刻に関する質問
問 15	自動車旅行の同行者に関する質問
問 16	自動車旅行の移動時の生起事項に関する質問
問 17	大野市の認知・訪問の有無に関する質問
問 18	大野市への訪問目的と訪問時期に関する質問
問 19	中部縦貫道開通の認知に関する質問
問 20	中部縦貫道が無料区間であることの認知に関する質問
問 21	大野市を訪れる際の訪問形式に関する質問
問 22	中部縦貫道と一般道のルート選択に関する質問
問 23	ルート選択の理由に関する質問
問 24	大野市の気になった観光コンテンツに関する質問
問 25	大野市への訪問意向に関する質問

また、本研究における旅行の「目的地」と「立ち寄り」について、以下の表 3-5 にその内容を定義する。

表 3-5 目的地と立ち寄りの定義

目的地	その旅行の動機形成の中心となり、旅行計画の決定要因となった場所。旅行を計画する際に「ここに行くために」出発したとされる場所。
立ち寄り	目的地に行く過程で休憩・給油・買い物・トイレ・食事等のために一時的に立ち寄った場所。あらかじめ、予定していなくて立ち寄った場所。

なお、本アンケートのあたっては主に自動車を運転する方を想定した質問内容となるが、自動車を普段から運転しない方にも回答をしていただいております。その方には同乗者目線で回答してくださいという注釈をつけています。

3.4 基準アクセス時間による評価

3.4.1 ネットワーク解析の設定

基準アクセス時間の算出には、ArcGIS Pro および Network Analyst の「OD コストマトリックス解析」を用いる。解析に用いる道路ネットワークデータおよび走行条件の設定を以下に記述する。

解析対象とする道路種別は、高規格幹線道路および都市高速道路、一般国道、主要地方道、一般都道府県道、市町村道とそれぞれに接続するリンク（インターチェンジ、ジャンクション、出入口等）とし、地域間の移動を担う幹線道路網を再現した。設計速度を以下の表 3-6 に示す。なお、すでに最高速度として速度情報がある場合は、その速度を設定している。中部縦貫自動車道の大野油坂道路（九頭竜 IC～油坂出入口）については、開通後のネットワークとして新規リンクを追加し、設計速度に基づく属性情報を付与した。

表 3-6 ネットワーク解析における道路の設定速度

Geofabrik データにおける名称	道路種別	設定速度(km/h)
Motorway	高規格幹線道路および都市高速道路	80
Trunk	一般国道	60
Primary	主要地方道	50
Secondary	一般都道府県道	40
Tertiary	市町村道	30
Link	インターチェンジ/ジャンクション/ 出入口	30

整備効果による所要時間の短縮量を計測するため、以下の2つのネットワークケースを作成した。

- 現況ケース（Before）：中部縦貫自動車道の未開通区間を含まない，現在の道路ネットワーク
- 整備後ケース（After）：中部縦貫自動車道（九頭竜 IC～油坂出入口）が開通した状態を想定した将来ネットワーク

3.4.2 開通前後の所要時間比較

前節までの方法に基づき，中部縦貫自動車道（九頭竜 IC～油坂出入口）の開通前後における基準アクセス時間の差分を算出し，その空間分布を図 3-3 に示す。

図 3-3 は，大野市から各市町村役場までの所要時間短縮量を市町村単位で可視化したものである。大野市以東の地域には広範囲にわたり，所要時間の短縮効果が生じていることが確認できる。8.4 分の所要時間短縮がある地域は中部縦貫道を経由して到達する地域であるということも読み取れる。

一方で，時間短縮量の大きさに着目すると，多くの地域における短縮効果は概ね 3 分～8 分程度にとどまっており，極端に大きな短縮が生じている地域は限定的であることが分かる。このことから，中部縦貫道（九頭竜 IC～油坂出入口）の開通は，大野市へのアクセス性を全体として改善しているものの，単一の経路整備のみで大幅な所要時間短縮をもたらすものではないといえる。

また，他経路との時間差が拮抗する地域が存在している点も特徴的である。この地域においては，8 分程度の所要時間短縮では，必ずしも経路選択や目的地選択を決定づける要因にはならない可能性が示唆される。

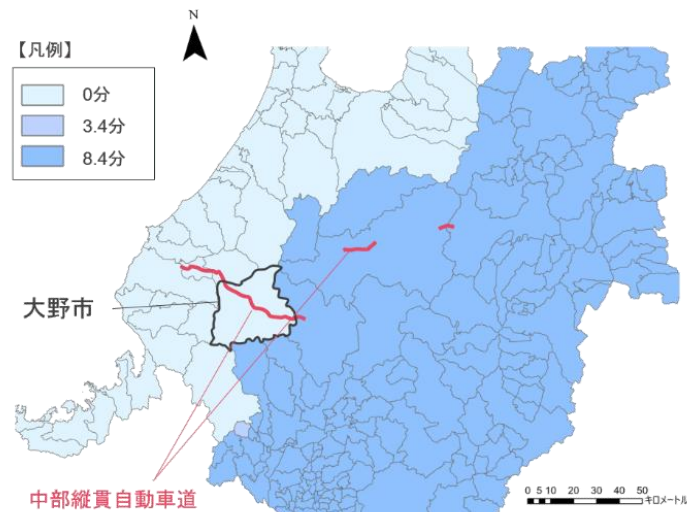


図 3-3 中部縦貫道（九頭竜～油坂間）開通による大野市への所要時間短縮量

この結果から，基準アクセス時間に基づく評価のみでは，道路整備が利用者の行動に与える影響を十分に説明することは難しく，実際の立ち寄り行動や移動の余裕時間といった行動特性を考慮した分析が必要であると考えられる。

第4章 アンケート結果に基づく行動パターン分析

4.1 データと分析変数の整理

本章では、第3章で実施したアンケート調査の結果を用いて、自動車旅行に関する行動パターンおよび大野市に対する訪問意向の分析を行う。

本アンケート調査では、計324名から有効回答を得たが、設問の構成上すべての回答者がすべての設問に回答はしておらず、直近の自動車旅行に関する設問（問11～問16の6問）についてはサンプル数が減っている。データの有意性を保つために、サンプル数を減らすことはせずに、分析目的に応じて以下の2種類のデータセットを使い分けることとした。

- 全体データ（n=324）
大野市に関する認知度、訪問経験、訪問形式、訪問意向などの分析に用いる。
- 行動実態データ（n=210）
直近の高速道路を利用した自動車旅行に関する詳細な行動情報が取得できている回答者を対象とする。

また、地域特性を考慮した分析を行うため、市町村単位で大野市を中心とした方位と道路ネットワークの関係性に基づいて、表4-1に示す6ゾーンに地域分類をした。

表4-1 分析におけるゾーン区分の設定

ゾーン番号	ゾーン名
1	福井県・石川県
2	北部（富山県）
3	東部（近隣/高山市・郡上市・松本市ほか）
4	南部（近隣/岐阜市・名古屋市ほか）
5	東部（遠方/長野市・上田市・佐久市ほか）
6	南東部（遠方/塩尻市・伊那市・豊橋市ほか）

なお、ゾーン選定における近隣・遠方は、大野市からの最短到達圏が150分を基準に選定した。

4.2 自動車旅行における行動パターン分析

4.2.1 単純集計による基礎的傾向の把握

アンケートの設問3では、自動車を利用した長距離移動の利用実態を把握するため、車での長距離移動（概ね片道100km以上、1時間半程度の運転）をどのくらいの頻度で行うかという回答を得た。その結果を図4-1に示す。

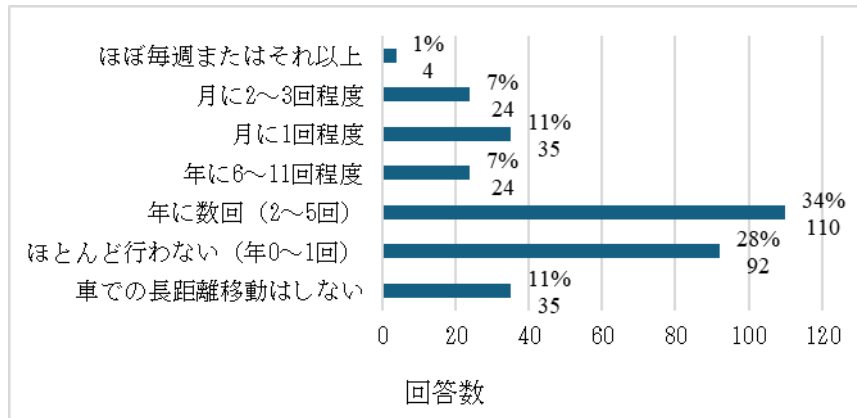


図4-1 車での長距離移動に頻度と回答数 (n=324)

図4-1から、本アンケート集計地域においては、60%の回答者が1年に2回以上は長距離移動を経験していることが確認された。項目ごとの回答の割合は年に数回(0回から5回)が62%、月に1回以上の合計が19%であった。

アンケート設問4では、車での日帰り旅行として、行ってもよいと思える上限の片道移動時間はどのくらいですかという質問に対して回答を得た。その結果を図4-2に示す。

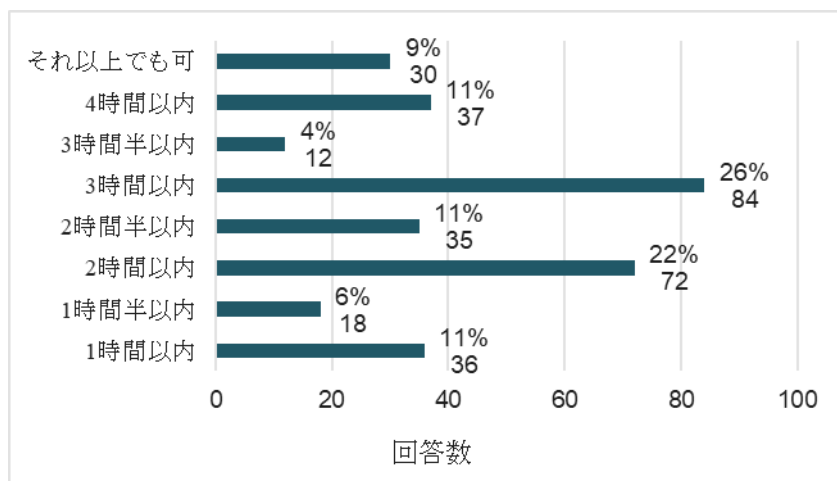


図4-2 車での日帰り旅行の上限の片道移動時間と回答数 (n=324)

図4-2からわかる通り、日帰り旅行の上限の片道移動時間として最も割合が高いのが2時間半~3時間以内で26%あり、2時間半以内の回答数で全体の50%を占めることが明らかとなっ

た。多くの人にとって自動車旅行による日帰り旅行の実質的な行動圏が概ね片道2時間～3時間圏に集中していることがわかった。

アンケート設問5では、車での長距離移動で、「休憩が必要だ」と感じる移動時間（走行時間）はどのくらいですかという質問に対して回答を得た。その結果を図4-3に示す。

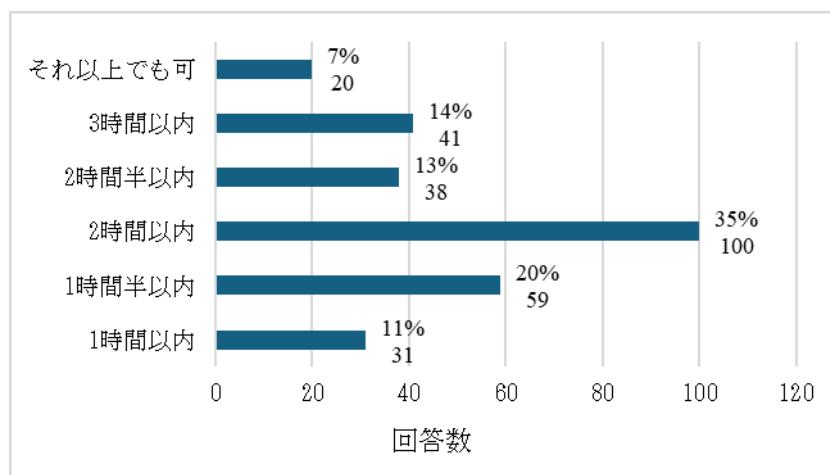


図 4-3 休憩が必要だと感じる移動時間と回答数 (n=324)

図 4-3 からわかる通り、長距離移動時に休憩が必要だと感じるのは1時間半～2時間以内が35%と最も多く、次いで1時間～1時間半以内が20%であった。このことから、回答者の半数は1時間半～2時間の連続運転を1つの区切りとして休憩を必要としており、それよりも長時間の連続走行を好まない意向があることがわかる。

アンケート設問6では、車での長距離移動中に休憩をとる場合、1回あたり平均何分間滞在するかという質問に対して回答を得た。その結果を図4-4に示す。

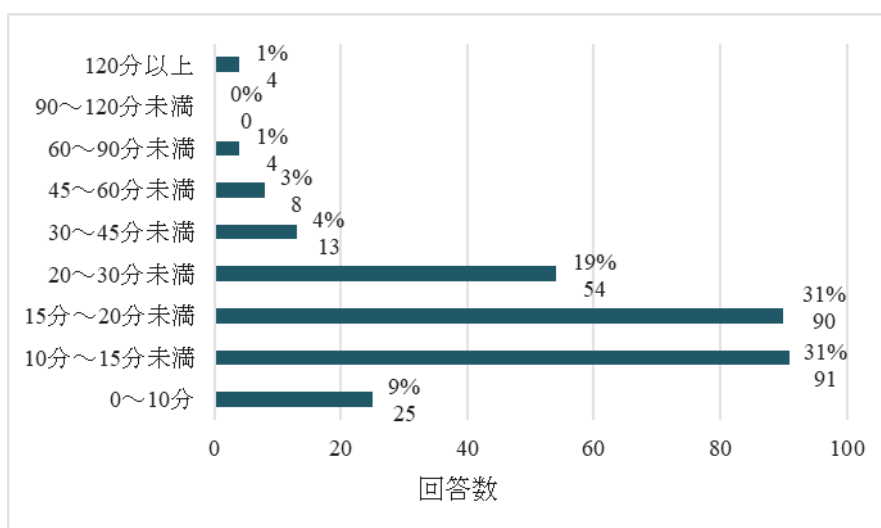


図 4-4 休憩時の平均滞在時間と回答数 (n=324)

図 4-4 からわかる通り、休憩施設の滞在時間においては 10 分～15 分、15 分～20 分の中での回答が 31% ずつと多数を占めており、20 分以上の比較的長い休憩をとる層は少数派であった。このことから、休憩は主として短時間であることが多く、長時間滞在型の立ち寄りは一般的には限定的であると考えられる。

アンケート設問 22 では、今回開通する中部縦貫道（九頭竜～油坂区間）において、自宅から該当区間を通る場合、中部縦貫道を経由するルートと既存の一般道・国道 158 号を経由するルートどちらを選択しますかという質問に対して回答を得た。その結果を図 4-5 に示し、ルートを選択した理由について得られた回答を図 4-6 に示す。また、それぞれのルートには以下のような特徴がある。

- 中部縦貫道を経由するルート：九頭竜 IC と油砂出入口間の所要時間はおおよそ 15 分で、当区間は無料区間にあたる。区間の約 7 割がトンネルである。
- 一般道国道 158 号を経由するルート：所要時間はおおよそ 23 分であるが、道中には道の駅や九頭竜ダムなどの観光コンテンツが存在する。カーブや高低差が多い。

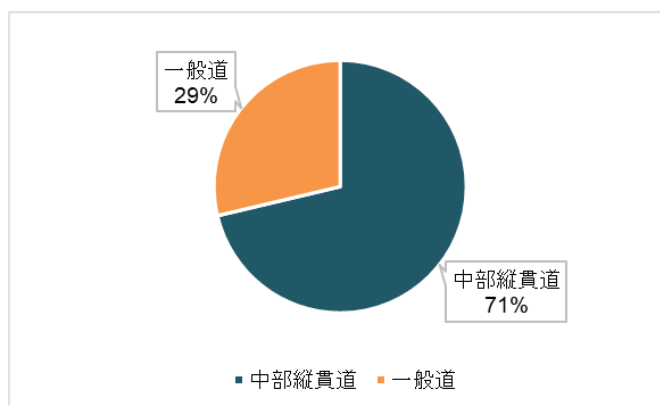


図 4-5 ルート選択の割合 (n=324)

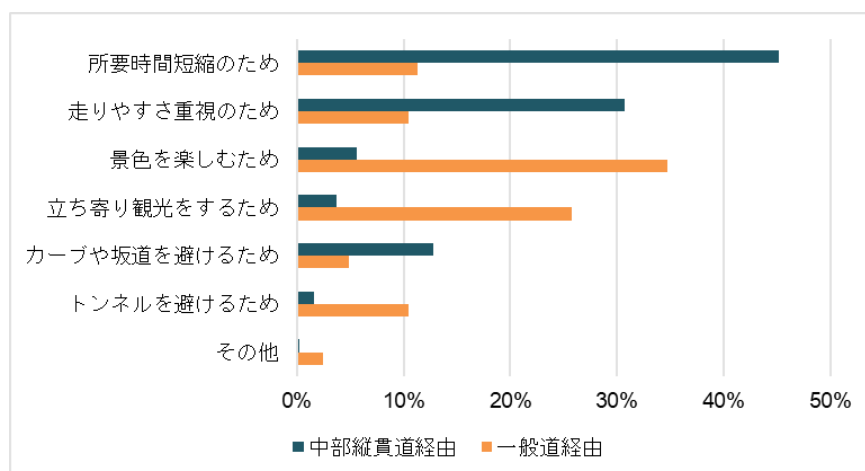


図 4-6 ルートごとの選択理由割合 (複数回答あり)

図 4-5 からわかる通り，中部縦貫道を選択した人（71%）は一般道（29%）よりも多かった。

図 4-6 からは，ルートごとの選択理由の割合であり，中部縦貫道を選択した人は「所要時間を短縮するため」，「走りやすさを重視するため」という割合が高かったのに対し，一般道を選択した人は「景色を楽しむため」，「立ち寄り観光をするため」という割合が高かった。

4.2.2 クロス集計による行動分析

本項では，単純集計で把握した基礎的傾向を踏まえ，変数間の関連性を明らかにするためのクロス集計分析を行う。クロス集計においては，各項目に χ^2 検定を実施し，5%有意水準で統計的に有意な差（ $p \leq 0.05$ ）がみられたもののみを比較する。加えて，集計においては年齢（18～39 歳，40～59 歳，60 歳以上の 3 区分）による補正として拡大係数を乗じ，実際の人口構成比に近づけた。なお，地域による補正は行っていない。

はじめに，「休憩が必要だと感じる移動時間」を 100%とした「日帰り旅行の片道の上限時間」とをクロス集計の結果を図 4-7 に示す。

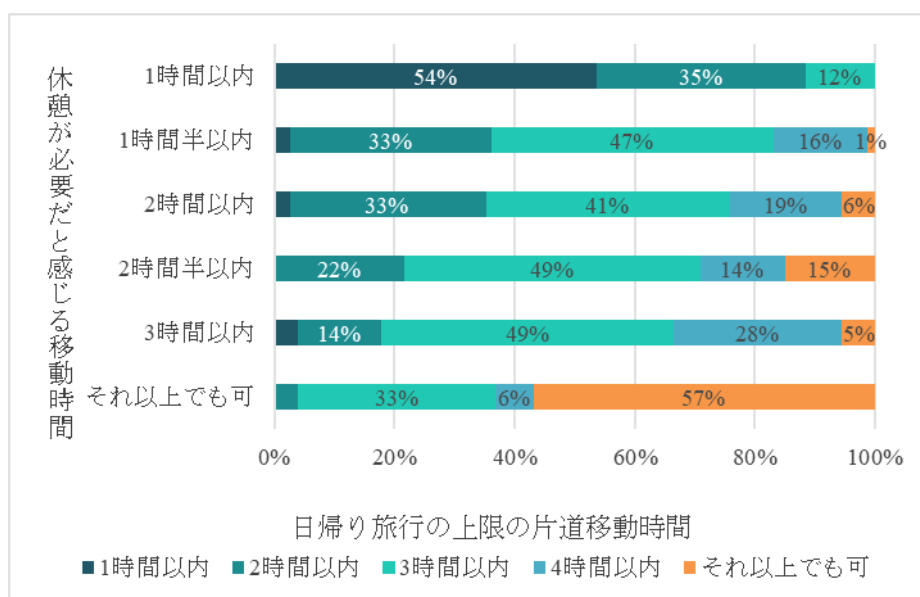


図 4-7 休憩が必要な頻度と日帰り旅行の上限の片道移動時間の比較（ $n = 324$ ）

図 4-7 より，休憩を 1 時間以内の高頻度でとる層は日帰りの上限の片道移動時間も 1～2 時間以内と回答する割合が高く，それに対して休憩を 3 時間以上の連続走行でもとらないという層は日帰りの上限の片道移動時間も 4 時間以上でも可と回答する割合が高かった。

この結果は，こまめに休憩を必要とする人ほど行動圏が狭く，長時間の連続運転を許容できる人ほど行動圏が広いという対応関係を示す。したがって，大野市のターゲットングとしては，近隣地域で規模は狭くなるがこまめな休憩で立ち寄りが多くなるような層あるいは遠くからでも来訪可能性がある大規模だが休憩としての立ち寄りは少ない層をターゲットングとするかの 2 つのタイプがあることがわかった。

次に、大野市の名前を知っているか、大野市への訪問経験と訪問意向の5段階評価とのクロス集計、大野市の名前を知っているかと大野市への訪問経験のクロス集計の結果を図4-8、図4-9、図4-10に示す。

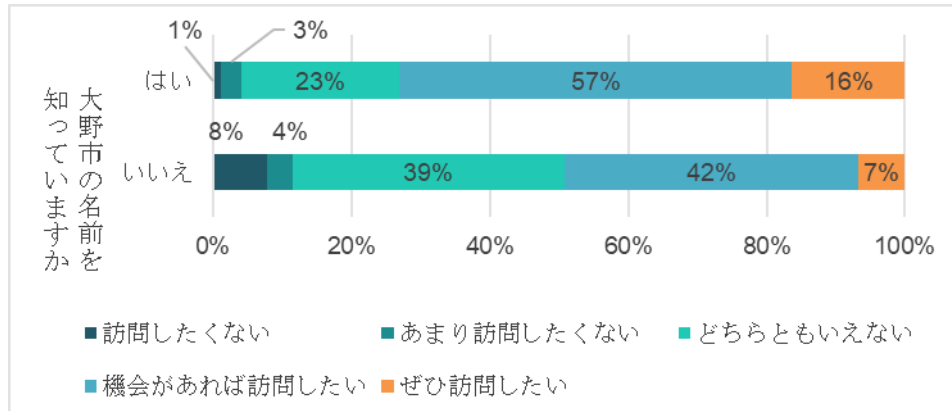


図4-8 大野市の認知と大野市への訪問意向の比較 (n = 324)

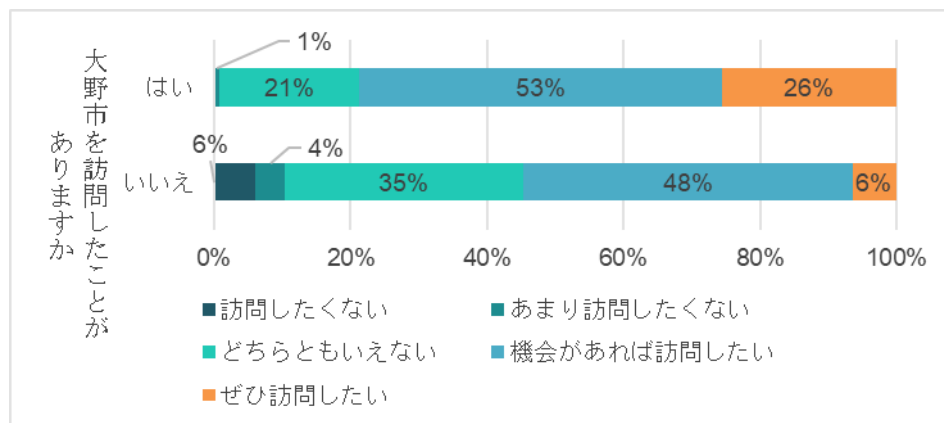


図4-9 大野市への訪問経験と大野市への訪問意向との比較 (n = 324)

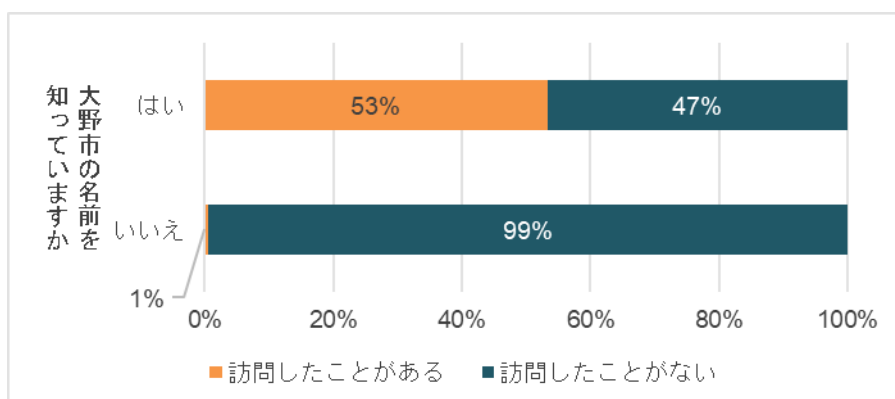


図4-10 大野市の認知と大野市への訪問経験の比較 (n=324)

図4-8、図4-9からわかる通り、大野市への訪問意向には認知および訪問経験が強く関係していることが明らかとなった。「大野市の名前を知っている」層では、「ぜひ訪問したい」、「機会

があれば訪問したい」の割合の合計が73%に達したのに対し、「大野市の名前を知らない」層では、「ぜひ訪問したい」、「機会があれば訪問したい」の割合の合計は49%にとどまり、認知の有無が訪問意向に影響していることが確認された。さらに、訪問経験の有無との比較では、その割合はさらに増加し、訪問経験がある層は「ぜひ訪問したい」、「機会があれば訪問したい」の割合の合計は79%となった。このことから、一度大野市を訪れた人は再訪意向を強く持つ傾向があることが明らかとなった。

また、図4-10から、大野市を認知している層のうち約53%が実際に訪問経験を有しており、認知が来訪行動の前提条件となっていることが示された。

次に、車での長距離移動の頻度と大野市への訪問意向とのクロス集計の結果を図4-9に示す。なお、「訪問したくない」の割合は「訪問したくない」、「あまり訪問したくない」の合算値、「訪問したい」は「ぜひ訪問したい」、「機会があれば訪問したい」の合算値として表示方法を変更している。

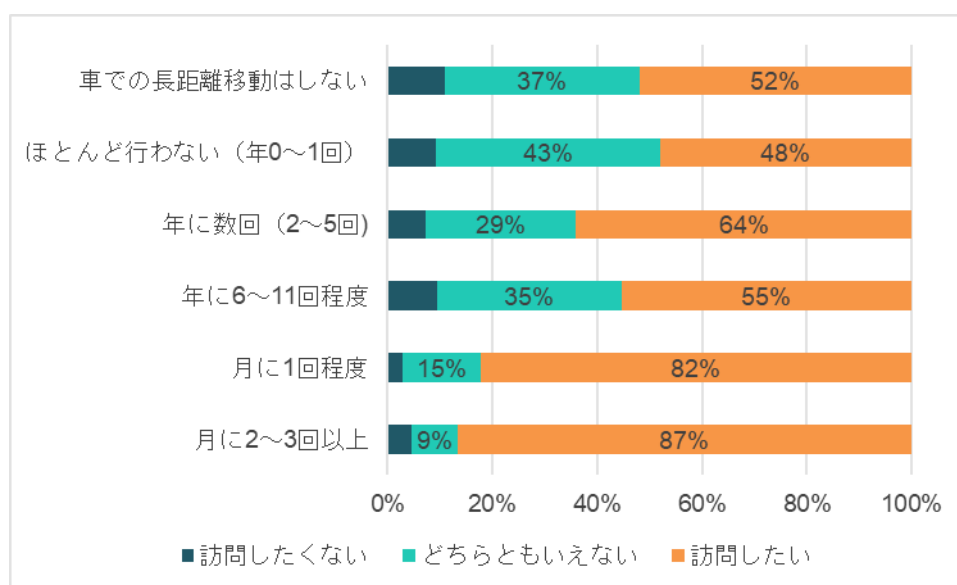


図4-11 車での長距離移動の頻度と大野市への訪問意向の比較（n=324）

図4-11からわかる通り、「月に1回程度」、「月に2～3回程度」、「ほぼ毎週またはそれ以上」といった長距離移動頻度の高い層では、「訪問したい」と回答した割合が80%を超えた。一方で、月に1回以上のペースで長距離移動を行うのを境に、「訪問したい」割合が低下することが明らかとなった。

次に、旅行先を選ぶ際に重視するポイントと大野市への訪問意向とのクロス集計の結果を図4-12に示す。なお、旅行先の重視ポイントは複数が可能であるため、その項目を選択した人の中での、大野市への訪問意向を集計している。

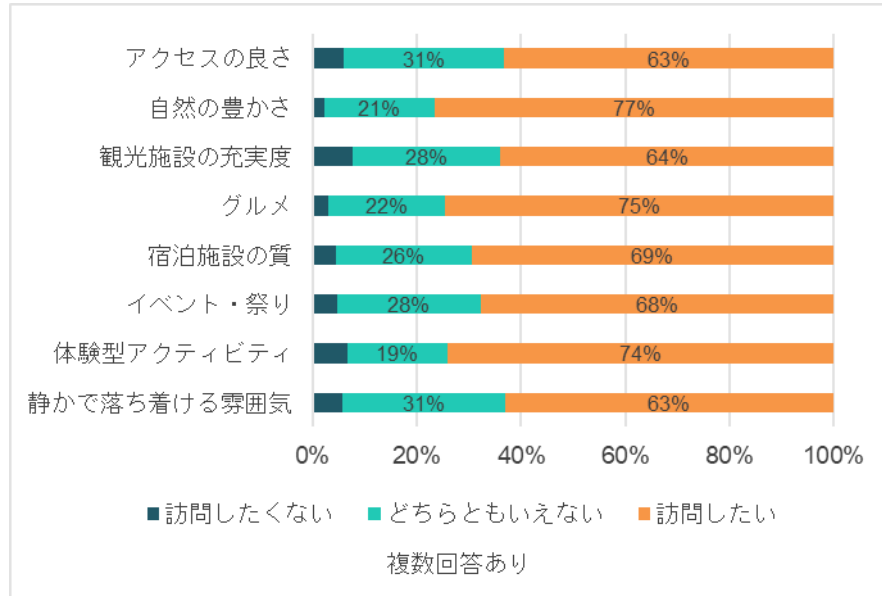


図 4-12 旅行先の重視ポイントと大野市への訪問意向の比較

図 4-12 から得られた結果について、各項目に χ^2 検定を実施した。その結果、「アクセスの良さ」、「自然の豊かさ」を重視する層の比較においてのみ、訪問意向の分布に統計的な有意さが確認された。

具体的には、「自然の豊かさ」を重視する層では、「訪問したい」と回答する割合が相対的に高い傾向が見られた。これは、大野市が有する自然景観や環境資源が当該層の志向と合致していることを示しており、大野市にとって親和性の高い主要ターゲット層であることを示している。一方で「アクセスの良さ」を重視する層では、「訪問したい」と回答した割合が相対的に低い傾向となった。このことから、現状では大野市はアクセスの良さを重視する層に対する訴求力が十分とは言えない状況にあることが示された。中部縦貫自動車道の整備によるアクセス性向上が、今後の新たな来訪者層の拡大に寄与する可能性が示唆された。

次に、6ゾーン別のクロス集計として、大野市に対する意識・行動の地域差を把握するための分析を行った。まず、大野市への訪問意向をゾーン別に比較した結果を図4-13に示す。また、「大野市を訪れるとしたらどのような訪問形式で行きたいですか」という質問に対する回答について、ゾーン別の訪問形式の構成比を比較した結果を図4-14に示す。

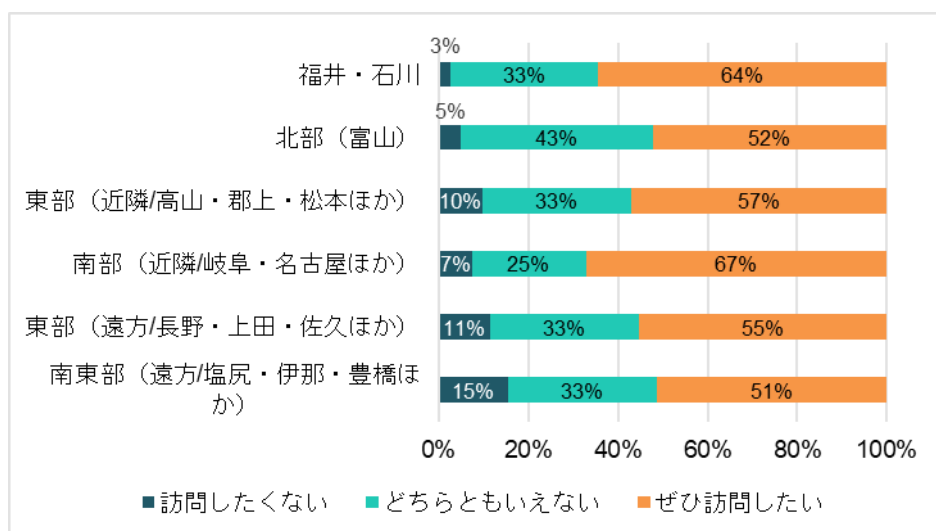


図4-13 ゾーンと大野市への訪問意向の比較

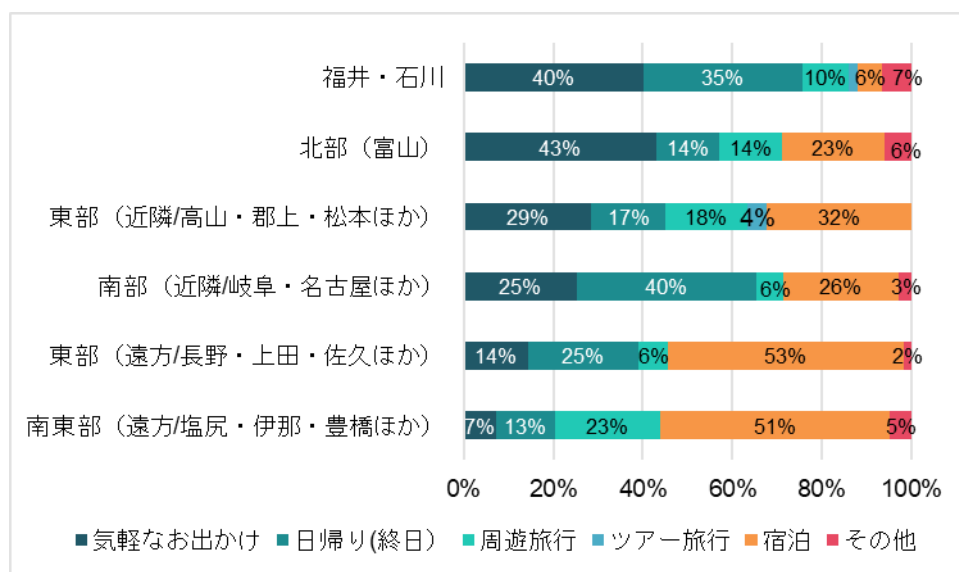


図4-14 ゾーンと大野市を訪れる際の訪問形式

図4-13からわかる通り、大野市を「訪問したい」と最も高い割合が得られたのは、「南部（近隣/岐阜・名古屋ほか）」（以下、南部近隣）の67%であり、大野市への関心が高い傾向を示した。「東部（遠方/長野/上田・佐久ほか）」（以下、東部遠方）や「南東部（遠方/塩尻・伊那・豊橋）」（以下、南東部遠方）でも「訪問したい」層は55~60%程度存在し、距離が遠い地域であっても一定の関心がある傾向が確認された。

図 4-14 からは、ゾーンごとに大野市を訪れる際の訪問形式に明確な差が得られた。福井・石川および北部（富山）（以下、北部）、南部近隣などの近隣地域では、「気軽なお出かけ」や「日帰り（終日）」が大半を占めており、短時間かつ短距離での訪問を志向していることがわかる。一方で、東部、南東部の遠方地域では「宿泊」を選択する割合が大きく増加し、「せっかく大野市に行くなら宿泊する」という層が半数いることが明らかとなった。

以上のクロス集計の結果を総合すると、本研究で対象とする回答者の行動特性および大野市に対する意向には次のような特徴があることが明らかとなった。

自動車旅行における行動圏は「休憩の必要頻度」と「日帰り旅行の片道の上限時間」との間に明確な対応関係がみられ、こまめな休憩を必要とする層ほど行動圏が狭く、長時間の連続運転を許容できる層ほど行動圏が広いという二極化した傾向が確認された。

また、大野市への訪問意向には「認知」および「訪問意向」が影響しており、一度訪問した経験を有する層では再訪意向が高まることが示された。

さらに、旅行先の重視ポイントとの関係では、「自然の豊かさ」を重視する層において訪問意向が有意に高く、大野市が自然志向型の観光地としての親和性が高いターゲット有している可能性があることがわかった。一方で、「アクセスの良さ」を重視する層では、訪問意向が相対的に低く、現状ではアクセス面での訴求力が十分ではないことが示唆された。

加えて、ゾーン別の分析からは、大野市の近隣地域では気軽なお出かけや日帰りなどの短時間の訪問を志向する層が中心であるのに対し、遠方地域では宿泊を伴う訪問を志向する割合が高いという地域差が確認された。

これらのことから、アンケート結果も含めて大野市への来訪意向が高い属性・志向についてまとめたものが表 4-2 である。また、立ち寄りとして大野市への来訪可能性がある属性・志向を整理したものが表 4-3 となっている。

表 4-2 大野市への来訪意向が高い属性・志向の整理

属性・志向・行動パターン	全体としての 回答数/割合	そのうち、訪問したい (4と5の回答者)の回答数/割合
大野市を知っている	163 51%	118 72%
訪問したことがある	89 27%	69 79%
車での長距離移動の頻度が月に 1回以上	62 19%	52 84%
自然の豊かさを重視する	107 33%	82 77%
グルメを重視する	143 44%	105 73%
大野市に訪れる際は、周辺地域 との周遊旅行として訪れたい	28 9%	24 86%
大野市に訪れる際は、旅行会社 のツアー旅行として訪れたい	3 1%	3 100%
南部（近隣/岐阜・名古屋ほか） 地域に居住	121 37%*	80 66%

※サンプル数を多くしているため割合は参考値である

表 4-3 立ち寄りとして大野市への来訪可能性がある属性・志向の整理

属性・志向・行動パターン
大野市からの距離が近い
自然の豊かさを重視する
宿泊施設の充実度を重視する
旅行同行者が、子どもを含む家族連れである
旅行同行者が、家族・友人・知人などとの混合グループである
ルート選択にて、 立ち寄り観光をしたいためという理由で一般道を選択する

第5章 おわりに

5.1 本研究のまとめ

本研究では中部縦貫自動車道の整備を背景とした大野市への来訪意向について、属性や旅行志向、立ち寄り行動といった観光行動の実態を踏まえたより詳細な行動パターンを踏まえ、どのような層が大野市を訪れやすく、どのくらいの時間をかけて訪問するかという評価を行ってきた。その結果は以下の通りである。

- ① 大野市への訪問意向が高い属性・志向・行動特性として、「自然の豊かさを重視する」、「大野市への訪問経験がある」、「周遊旅行やツアー旅行を志向する」などの層が抽出された。
- ② 立ち寄り行動に関する分析からは、子どもを含む家族連れや複数人グループ、自然志向、宿泊志向などの層で立ち寄り回数、立ち寄り時間比率が高いことを明らかにした。

以上のようなことを明らかにできたことから本研究では、「どのような属性・志向をもつ人が、どの地域から、どのような形で大野市に立ち寄りやすいか」を整理することができ、大野市の観光誘致における具体的なターゲット層を示すことができたと考えられる。

5.2 今後の展望

本研究の分析にあたり改善点としては、サンプル数の制約から、地域別・属性別の詳細な分析には限界があったことが挙げられる。今後、より大規模な調査を実施することで、地域ごとの特徴をより明確に把握できる可能性がある。

一方で、近年はGPSデータをもとにした各時点での位置データを入手することができるようになった。各行動主体の意向データは本研究のようなアンケート等を用いることとなるが、一方で、GPSデータであれば、極めて詳細の時空間位置データおよびそれらを用いた移動データを取得することができるので、それに基づく分析は、より詳細な検討を可能にする。

また、結果としては、中部縦貫自動車道開通前の予測的評価を中心としているため、実際の道路開通後の効果検証が必要である。中部縦貫自動車道の全線開通後に同様の分析を実施することで、本研究の結果を実証的に検証することができると考える。

最後に、アクセス時間の評価に加えて、大野市側の受け入れ環境（観光施設、駐車場、情報提供など）の整備状況を組み合わせた総合的な分析が求められる。本研究で示したターゲットに応じたサービス設計や施策検討を進め、実際の観光戦略につなげる方法について、今後研究を進めていきたい。

参考文献

- (1) 国土交通省：国土形成計画（全国計画），2023年7月更新
<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/content/001621775.pdf>，閲覧日 2026年1月9日
- (2) 国土交通省：多様なニーズに応える道路 ガイドライン，2022年3月1日更新，
https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/diverse_needs/pdf/guideline.pdf，
閲覧日 2026年1月10日
- (3) 国土交通省：休憩施設等の利用促進，2024年9月11日更新
<https://www.mlit.go.jp/common/001172224.pdf>，閲覧日 2026年1月10日
- (4) 国土交通省近畿地方整備局：一般国道158号【再評価】大野油坂道路，2023年7月，
[no.3.pdf](#)，閲覧日 2026年1月10日
- (5) 福井県大野市：【改訂】大野市都市マスタープラン，平成23年7月策定，2023年12月改訂，
閲覧日 2026年1月10日
https://www.city.ono.fukui.jp/kurashi/kankyosumai/toshikeikaku/citymasterplan.files/t_zenpen.pdf，
閲覧日 2026年1月10日
- (6) 国土交通省：道の相談室；道路についての定義・用語，
https://www.mlit.go.jp/road/soudan/soudan_01b_03.html，閲覧日 2026年1月10日
- (7) 福井県ホームページ：中部縦貫自動車道福井県ホームページ，2025年9月18日更新，
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/koukikaku/tyubu/tyubugaiyou.html>，閲覧日 2026年1月10日
- (8) 片岡 将，柳川 篤志，樋野 誠一，毛利 雄一，田中 皓介，川端 祐一郎，藤井 聡：高速道路の新規整備が国民経済と国土構造にもたらす影響の計量分析，交通工学論文集，Vol.5，No.2，
pp.A_275-A_284，2019
- (9) 上田 大貴，片岡 将，柳川 篤志，川端 祐一郎，藤井 聡：既存高速道路のマクロ経済及び人口分布に対する整備効果に関する研究，土木学会論文集，Vol.75，No.6，pp I_523-I_535，2020
- (10) 田部井 伸夫，川上 洋司，本多 義明：地方部における高速道路整備の影響に関する基礎的知識，都市計画学会論文集，Vol.30，pp.577-582，1995
- (11) 安藤 宏恵，倉内 文孝：Network Topology 指標による道路ネットワーク整備の効果検証に関する研究，土木学会論文集，Vol.75，No.6，pp. I_445 - pp. I_454，2020
- (12) 山崎 浩気，宇野 伸宏，塩見 康博，倉内 文孝：ETCデータに基づく利用者行動変化に着目した高速道路供用効果把握に関する研究，土木学会論文集，Vol.27，No.5，pp.961-972，2010
- (13) 尾高 慎二，日比野 直彦，森地 茂：観光統計の個票データを用いた旅行者属性と観光行動の特性に関する研究，土木学会論文集，Vol.67，No.5，pp. I_727 - pp. I_735，2011
- (14) 小平 裕和，日比野 直彦，森地 茂：自動車を使用した観光行動の観光統計および交通統計の個票データを用いた時系列分析，土木学会論文集，Vol.70，No.5，pp. I_423 - pp. I_432，2014
- (15) 佐々木 卓，高橋 真人，木下 哲男，神納 大輝，菅野 寛政，田中 伸治：ETC2.0プローブ情報を活用した首都高PA利用傾向分析，交通工学論文集，Vol.4，No.1，pp.B_12-pp.B_20，2018
- (16) 中塚 典孝，清水 哲夫，太田 恒平，野津 直樹：プローブデータを用いた高速道路の帰宅ピーク分散のための観光周遊行動分析，第52回土木計画学研究発表会・講演集，pp.2173-2178，土木学会，2015

- (17) 小林 昇太, 楽 奕平, 青柳 西藏: 観光後帰宅途中における立ち寄り活動の実態把握と渋滞との関連, 土木学会論文集, Vol.79, No.20, 23-20065, 2023
- (18) 大野市公式ホームページ: 大野市のプロフィール, 2025年12月5日更新,
<https://www.city.ono.fukui.jp/konnatokoro/konnatokoro.html>, 閲覧日 2026年1月12日
- (19) 大野市公式ホームページ: 市民のうごき, 2025年12月11日更新,
<https://www.city.ono.fukui.jp/shisei/profile/toukei/shimin-ugoki.html>, 閲覧日 2026年1月12日
- (20) 大野市公式ホームページ: 令和6年大野市観光入込客数について(公表)
https://www.city.ono.fukui.jp/kanko/jigyosha/jigyosha-joho/kankouirikomi6.files/0003_20250729.pdf ,
閲覧日 2026年1月12日
- (21) 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所: 大野油坂道路パンフレット, 2025年2月版
https://www.kkr.mlit.go.jp/fukui/road/syoukai/oonoyusaka/e9uk5i000000ep4batt/241226_ono_aburasaka_pamph.pdf , 閲覧日 2025年6月28日
- (22) 国土交通省 関東地方整備局: 高規格幹線道路 中部縦貫自動車道 | 長野国道事務所,
<https://www.ktr.mlit.go.jp/nagano/nagano00072.html>, 閲覧日 2026年1月12日
- (23) 越前おおの観光ビューロー: 道の駅九頭竜-福井県大野市-観光ガイド, 2025年10月31日更新,
<https://www.ono-kankou.jp/tourism/detail.php?cd=44> , 閲覧日 2026年1月12日
- (24) 道の駅 越前おおの荒島の郷: 施設概要 | 道の駅「越前おおの 荒島の郷」,
<https://arashimanosato.com/facility3/> , 閲覧日 2026年1月12日
- (25) 福井県公式ホームページ: 一般国道158号 災害復旧工事(大野市上半原)-福井県, 2026年7月17日更新, <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/okuetu-doboku/koujijokyo.html> , 閲覧日 2026年1月12日
- (26) Geofabrik: GEOFABRIK Japan, <https://download.geofabrik.de/asia/japan.html>,
閲覧日 2025年10月15日

以降は、次の2つの研究内容を合わせて報告する。

- 地域住民や団体との協働による横町スタジオの活用及びエリアマネジメントの実施
- 横町スタジオ等の拠点を中心とした関わり続ける定住の実施

令和7年度

横町スタジオ拠点整備・運営補助業務（その1）

報告書

令和7年10月
一般社団法人カンデ

1. プロジェクト調査票

案件名称	横町スタジオ拠点整備・運営補助業務その1	◎実施事業 ・ その他
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関わり続ける定住の拡大に向けた空き家リノベーション技術支援 2. 地元住民との協働によるものづくりワークショップの企画、広報および実施支援 3. 地元住民との協働による横町スタジオ運営団体・横町編集部活動継続および運営支援 4. 大野市城下町エリアにおける地元住民との協働によるエリアマネジメント事業の企画および実施支援 	
協働者	日吉町1区/4区,横町編集部,関西大学社会資本計画研究室,地域連携センター,大野市政策推進課,環境・水循環課,地域文化課,荒島社,奥越スパイス研究会,純ちゃん農園,(株)sa-mo,みなと,INUIKAWA FUN,しもプロ,大野建築業組合,有終西小学校,大野地区まちづくり推進協議会,大野公民館,オオノクリエイトクラブ,上庄小学校	
位置付け	大野市と関西大学の連携協定（平成30年6月13日に締結）に基づく事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育・文化・人材育成・福祉・地域産業・学術研究分野での協力推進 ・ 「関わり続ける定住のカタチ」の実践による「結の故郷づくり」 ・ 地域資源の調査分析と「関西大学横町スタジオ」を活用した学生・住民交流 ・ 大学の知的/人的/物的資源を活用し、協働型まちづくりを継続的に展開 ・ 学生・教員と市民の連携を通じた持続可能な地域社会の構築 	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点運営者の活動が限定的になったため、気軽に立ち寄れる場所としての拠点運営方法の再検討やノウハウの引き継ぎの時期を迎えている。 ・ 拠点運営に関心がある地域住民や民間事業者との協働体制の構築を図り、担い手育成に努めている。 ・ 一方、市内の民間事業者が、大学連携事業を参考に関係人口創出の取り組みを独自に展開している。しかし、これら民間主導の取り組みは、資金・環境・技術面において持続性に欠けることが懸念される。 ・ 「こどもものづくり大学」では広報の負担、安定的な参加者確保に向けて方針が示され、継続的な運営に向けて協議がなされている。 ・ まちなかの拠点を行き来する人の流れが生まれ、さらなる発展に向けて拠点同士の連携強化が協議されている。 	
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学空白地域に学生を再地域化するための仕組みが構築されている ・ 大学が自治体のまちづくりに関わり続けられる環境ができている ・ 地域拠点の自律的な運営モデルが面的に展開され空き家等が活用されている ・ 大学が整備・支援した環境で、市民の主体的な活動が展開されている。 ・ 大学発の地域団体と民間事業者の良好な連携がなされている。 	
業務期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年4月1日～令和7年9月30日 	

実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 春日通りラボ（2号物件）における拠点整備への技術的および事業計画の伴走支援 2. 「こどもものづくり大学」におけるものづくりワークショップの企画・広報・実施支援。 3. 月刊「のーのー」（旧・横町通信）の発刊支援、および水族館サークル・奥越スパイス研究会への備品・拠点貸出支援。 4. エリアマネジメント事業「ダイサン」の企画・広報・運営支援を通じた地域民間事業者との協働推進。
成果と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学連携事業に民間事業者が関わり始め、拠点の活用や部分的な連携が促進された。 ・ このことによりイベントや広報活動を協働で実施する体制が構築され、地域内の拠点を回遊する新たな人の流れが生まれている。 ・ 大学連携事業を参考に民間事業者が独自に取組を展開し、横町編集部がその活動に協働できている。 ・ 春日通りラボは、奥越スパイス研究会との協働により拠点整備を進めており、補助金申請時には拠点整備の知見を活かした技術的支援を行い採択に至った。 ・ 「こどもものづくり大学」は年度はじめに年間予定表を作成・配布し、講師の広報負担の軽減や、安定的な参加者確保が達成した。 ・ 月刊「のーのー」の発刊は、大学連携の官民学協働体制のケーススタディとして民間事業者が多く携わっており、市民の情報発信の機会創出が形成されつつある。 ・ 「ダイサン」は、民間事業者との協働による運営体制が協議され、試験的運用が開始したが、情報発信のタイミング等、拠点間の連携に課題が残る。
今後の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学連携事業における民間リソースの活用および協働を見据え、城下町のエリアマネジメントを目的としたプロポーザル事業の検討に向け、関西大学と大野市での合意形成に向けて協議を開始する。（令和7年11月～） ・ 大学連携事業における民間リソースの活用および協働に向けて、大学連携を独自に実施する民間事業者等に対して資金的ニーズや運用面の課題を洗い出すサウンディング調査の実施を大野市に提案する。（令和7年11月～） ・ 月刊「のーのー」の運営体制を参考に、大学連携における民間の良好な関与について協議を進める。
連携事業に反映する内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業者との協働におけるガバナンス体制の構築

2. 業務実施状況

2-1.月別業務実施状況

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	学生	大学生	合計
受託研究	全体設計	4	9	定例会議				0
		4	9	年度締め				0
	拠点活用 サークル支援	4	2	水族館サークル水換えの日				0
		4	3	第三土曜日しゅしゅぼぼ運営会議				0
		4	9	水族館サークル水換えの日				0
		4	12	奥越スパイス研究会運営会議				0
		4	18	Neo朝市活動		4		4
		4	16	水族館サークル水換えの日				0
		4	19	横町縁日	31			31
		4	19	水族館サークルアクアポニックス設計	2			2
		4	20	月刊「のーのー」発行				0
		4	23	水族館サークル水換えの日				0
		4	25	奥越スパイス研究会出店@福井市	25			25
		4	28	水族館サークルアクアポニックス設計	2			2
		4	28	第三土曜日しゅしゅぼぼ運営会議				0
地域再生大野	講義企画運営	4	15	地域再生WSの企画および日程調整				0
		4	24	連携協定会議事前打ち合わせ				0
2号物件	拠点整備	4	4	2号物件オンライン打ち合わせ				0
		4	5	2号物件掃除	10			10
		4	9	設備現況調査+九頭電設備と打ち合わせ	2			2
		4	16	提案部会への事前打ち合わせ				0
		4	17	マスメガゲストハウス視察(自費)				0
4	19	二号物件提案部会				0		
エリア マネジメント	都市からミミズまで	4	7	大野公民館打ち合わせ				0
		4	10	環境水循環課打ち合わせ				0
		4	30	大野公民館、榎田造園と打ち合わせ				0
三菱みらい財団	基本構想	4	8	地域連携Cと定例会				0
		4	28	ヒアリング実施				0
		4	28	研究会の実施,				0
	プロジェクト支援	4	10	募集,広報,オリエンテーション開始				0
ふくいSDGs	横もも大学	4	3	桜の木燻製WS事前打ち合わせ				0
		4	5	お箸づくりWS		9	0	9
		4	10	年間予定表を作成				0
		4	29	桜の木燻製WS事前打ち合わせ				0
その他		4	1	民話pjオンライン会議				0
		4	11	福井県アートプロジェクト申請				0
		4	27	福井県アートプロジェクトプレゼンテーション				0
		4	30	住民自治検討会出席				0
合計					72	13	0	85

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	学生	大学生	合計
受託研究	全体設計	5	1	連携協定会議打ち合わせ@関西大学				0
		5	7	定例会議				0
		5	9	一般社団法人カンデ理事会				0
		5	10	経費月締め				0
		5	20	仕様書作成の打ち合わせ				0
	拠点活用 サークル支援	5	6	奥越スパイス研究会出店@ココノ	25			25
		5	11	奥越スパイス研究会出店@荒島旅舎	15			15
		5	16	奥越スパイス研究会出店@福井	15			15
		5	14	縁日打ち合わせ				0
		5	17	横町縁日	31			31
		5	17	横町盆踊り大会実行委員会打ち合わせ	7			7
		5	18	Neo朝市活動	0	3		3
		5	20	月刊「のーのー」発行				0
		5	22	Neo朝市活動	0	4		4
2号物件		5	3	改修WS①	8			8
		5	10	提案部会②	3			3
		5	17	改修WS②	3			3
		5	24	提案部会③	3			3
エリア マネジメント	都市からミミズまで	5	7	上庄小学校打ち合わせ				0
		5	22	上庄小学校環境学習		30		30
三菱みらい財団	基本構想	5	13	地域連携センターと定例会議				0
		5	20	関係者打ち合わせ				0
	5	22	次年度事業企画書提出				0	
	プロジェクト支援	5	20	キックオフミーティングに向けた事前打ち合わせ				0
ふくいSDGs	横もも大学	5	3	桜の木燻製WS/ものづくり大学入校式		12		12
		5	12	水循環課、INUIKAWA FUNとのWS内容に係る打ち合わせ				0
		5	14	INUIKAWA FUNとのWS内容打ち合わせ				0
福井県アートPJ	民話調査	5	9	事業採択,関係者打ち合わせ				0
		5	10	関係者打ち合わせ				0
		5	15	関係者打ち合わせ				0
		5	20	ココノアートプレイスと打ち合わせ				0
		5	23	定例会議				0
その他		5	16	岐阜県中津川市「加子母木匠塾」視察				0
		5	20	みらいカレッジ和泉地区視察				0
合計					110	53	0	163

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	学生	大学生	合計
受託研究	全体設計	6	6	定例会議				0
		6	10	経費月締め				0
		6	20	一般社団法人カンデ理事会				0
	拠点活用 サークル支援	6	7	奥越スパイス研究会出店@市役所労働組合学習会	30			30
		6	8	盆踊り打ち合わせ				0
		6	11	奥越スパイス研究会出店@ココノ	27			27
		6	12	第三土曜日企画打ち合わせ				0
		6	14	奥越スパイス研究会出店@乾側大門地区お料理教室	15			15
		6	27	奥越スパイス研究会出店@福井	11			11
		6	21	奥越スパイス研究会月刊fu取材対応				0
		6	23	奥越スパイス研究会出店打ち合わせ				0
		6	25	奥越スパイス研究会出店打ち合わせ				0
		6	21	横町縁日	20		0	20
		6	20	月刊「のーのー」発行				0
		6	4	水族館サークル水換えの日		1		1
		6	11	水族館サークル水換えの日		1		1
6	18	水族館サークル水換えの日		1		1		
6	25	水族館サークル水換えの日		1		1		
2号物件	基本構想	6	13	福井県庁へワクチャレ応募に向けた事前の相談				0
		6	20	ワクチャレ応募に向けたメンターとの面談				0
		6	10	提案部会④				0
		6	14	設計打ち合わせ				0
	6	28	提案部会⑤				0	
拠点改修	6	21	居室床はり工事				0	
エリア マネジメント	都市からミミズまで	6	3	上庄小学校環境学習		30		30
		6	7	環境フェア	20			20
		6	11	水のがっこう打ち合わせ				0
		6	18	上庄小学校環境学習		30		30
三菱みらい財団	基本構想	6	4	アボカドプロジェクトミニレクチャー				0
		6	4	定例会議				0
		6	29	インナーMTG				0
プロジェクト支援	6	1	キックオフミーティングへの参加				0	
ふくいSDGs	横もも大学	6	7	シャボン玉WS	40	20		60
		6	26	桜の木ビザづくりWS打ち合わせ				0
福井県アートPJ	民話調査	6	2	ココノアートプレイスと打ち合わせ				0
		6	7	アートプロジェクトキックオフMTG				0
		6	11	インナーMTG				0
		6	16	ココノアートプレイスと打ち合わせ				0
		6	21	第1回WS	12			12
		6	30	インナーMTG				0
その他		6	15	日吉町1区側溝掃除				0
		6	22	みらいカレッジ敷地調査				0
その他		6	18	環境省ゴミゼロエリア創出事業打ち合わせ				0
		6	18	環境省ゴミゼロエリア創出事業打ち合わせ				0
合計					175	84	0	259

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	学生	大学生	合計
		7	6	定例会議				0
		7	8	楠見アドバイザー面会				0
		7	10	経費月締め				0
		7	18	一般社団法人カンデ理事会				0
		7	24	一般社団法人カンデ総会				0
	拠点活用 サークル支援	7	6	盆踊り役員会	9			9
		7	20	横町縁日	20			20
		7	20	月刊「のーのー」発行				0
		7	4	奥越スパイス研究会出店@観光ビューロ	20			20
		7	6	奥越スパイス研究会出店@ゆめオーレ勝山	17			17
		7	9	Neo朝市サークル利用		3		3
		7	19	Neo朝市サークル利用		3		3
		7	18	奥越スパイス研究会出店@福井	10			10
		7	21	奥越スパイス研究会出店@ココノ	43			43
		7	26	奥越スパイス研究会出店@勝山大仏	30			30
		7	4	水族館サークル水換えの日		1		1
		7	11	水族館サークル水換えの日		1		1
		7	18	水族館サークル水換えの日		1		1
		7	25	水族館サークル水換えの日		1		1
2号物件	基本構想	7	2	日吉町4区住民との意見交換会	4			4
		7	6	提案部会⑥				0
		7	10	福井県ワクワクチャレンジプラン申請資料の作成				0
		7	13	福井県ワクワクチャレンジプラン申請打ち合わせ				0
		7	15	福井県ワクワクチャレンジプラン申請				0
	拠点改修	7	19	めだか水槽の設置				0
		7	27	冷蔵庫搬入	5			5
エリア マネジメント	都市からミミズまで	7	2	大野公民館打ち合わせ				0
		7	9	上庄小学校環境学習		30		30
		7	12	水のがっこうアクアボニックス現場確認				0
		7	19	水のがっこうアクアボニックス設置WS	4	1	1	6
三菱みらい財団	基本構想	7	1	定例会議				0
		7	22	研究会				0
		7	30	定例会議				0
	プロジェクト支援	7	31	現地フィールドワーク打ち合わせ				0
ふくいSDGs	横もも大学	7	2	中間報告作成				0
		7	3	桜の木ビザづくりWS打ち合わせ				0
		7	5	桜の木ビザづくりWS	18	12		30
福井県アートPJ	民話調査	7	19	ワークショップ@打波	9			9
		7	28	ココノアートプレイス協議				0
その他		7	5	みらいカレッジ敷地調査@矢地区				0
		7	20	日吉町4区日の丸公園草刈り				0
		7	23	矢地区住民へのヒアリング	2			2
合計					191	53	1	245

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	学生	大学生	合計	
受託研究	全体設計	8	13	定例会議					
		8	10	経費月締め					
		8	15	一般社団法人カンデ理事会					
	拠点活用 サークル支援		8	14	横町盆踊り	200		10	210
			8	16	横町縁日	18		2	20
			8	20	月刊「ののー」発行				
			8	12	インターン受け入れ(3人*4泊5日)			15	15
			8	15	Neo朝市		3		3
			8	15	Neo朝市		1		1
			8	4	水族館サークル水換えの日		1		1
			8	11	水族館サークル水換えの日		1		1
			8	18	水族館サークル水換えの日		1		1
			8	25	水族館サークル水換えの日		1		1
2号物件立ち上げ 支援	基本構想	8	23	ワクチャレプレゼン発表練習①					
		8	29	ワクチャレプレゼン発表練習②					
		8	30	ワクチャレプレゼン発表練習③					
		8	31	ワクチャレプレゼン発表					
エリア マネジメント	都市からミミズまで	8	2	上庄夏祭り出店		30		30	
		8	27	大野公民館と打ち合わせ					
三菱みらい財団	基本構想	8	25	地域連携センターと定例					
		8	27	地域連携センター、教員と研究会					
	プロジェクト支援	8	4	サーモンチーム受け入れ(4人*3泊4日)			16	16	
		8	5	印刷チーム受け入れ(6人*2泊3日)			18	18	
地域再生(大野)	滞在型講座	8	25	学生/教授受け入れ(16人*3泊4日)	8		56	64	
		8	28	最終成果報告会	6			6	
ふくいSDGs	横もも大学	8	2	タトゥーシールWS	5	7		6	
福井県アートPJ	民話調査	8	3	民話PJ打ち合わせ					
		8	9	民話WS	10			10	
		8	21	民話PJ打ち合わせ					
その他		8	4	インターン宿泊受け入れ(2人*4泊5日)			10	10	
		8	5	学生交流会の実施	10		4	14	
		8	9	インターン宿泊受け入れ(2人*4泊5日)			10	10	
		8	18	インターン宿泊受け入れ(4人*4泊5日)			20	20	
		8	5	矢地区住民へのヒアリング					
		8	22	矢地区住民へのヒアリング					
		8	6	観光ビューローグッズ開発打ち合わせ					
		8	13	観光ビューローグッズ制作WS	5			5	
		8	14	地域文化課移住相談会					
		8	17	県地域おこし協力隊向けに空き家セミナー実施	9			9	
		8	6	台湾学生視察	4	6		10	
合計					257	45	170	472	

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	学生	大学生	合計
受託研究	全体設計	9	10	定例会議				
		9	10	経費月締め				
	拠点活用 サークル支援	9	5	Neo朝市活動支援		7		7
		9	10	サークル立ち上げ相談	2			2
		9	10	シルクスクリーン制作	1			1
		9	20	横町縁日	30			30
		9	16	月刊「のーのー」打ち合わせ				
		9	20	月刊「のーのー」発行		3		3
		9	3	水族館サークル水換えの日		1		1
		9	10	水族館サークル水換えの日		1		1
		9	17	水族館サークル水換えの日		1		1
		9	24	水族館サークル水換えの日		1		1
2号物件立ち上げ 支援	改修事業	9	8	ダイサンに向けた打ち合わせ				
		9	18	設備屋さんによる現場調査				
		9	20	ダイサン	5			5
		9	26	ワクチャレ申請				
エリア マネジメント	都市からミミズまで	9	17	上庄小出前授業		30		30
		9	17	大野公民館と打ち合わせ				
三菱みらい財団	基本構想	9	24	地域連携センターと定例@関西大学				
	プロジェクト支援	9	3	サーモンチーム受け入れ (4人*3泊4日)			16	16
		9	22	オンライン打ち合わせ			4	4
9	22	オンライン打ち合わせ			4	4		
地域再生 (大野)	滞在型講座	9	30	地域再生WS参加者取りまとめ				
ふくいSDGs	横もも大学	9	17	水のがっこうWS打ち合わせ				
		9	21	木工WS@めいりん	10	4		14
福井県アートPJ	民話調査	9	3	民話PJ 打ち合わせ				
		9	20	民話WS (4回目)	8			8
		9	27	民話PJ さばえまつり出店 (2日間)	25			25
その他		9	3	岐阜県中津川市木匠塾原田氏視察対応	2			2
		9	5	大阪音大視察対応	2	7	11	20
		9	12	観光ビューローグッズ制作補助				
		9	22	観光ビューローグッズ開発打ち合わせ				
		9	21	イトヨの里 シルクスクリーンWS				
合計					85	55	35	175

2-2.横町スタジオを核とした連携事業における協働者の月別人数合計

	一般	学生※1	大学生	合計 (人)
4月	72	13	0	85
5月	110	53	0	163
6月	175	84	0	259
7月	191	53	1	245
8月	257	45	170	472
9月	85	55	35	175
	890	303	206	1399

※1：学生は大学生以外の小学生～高校生を指す。

3. 業務の成果

3-1.春日通りラボにおける民間協働型拠点整備の展開

春日通りラボ（2号物件）は、横町スタジオで蓄積された拠点形成の知見を活かし、地域住民や民間事業者と協働しながら整備を進めている。本事業は、城下町エリアに点在する空き家を活用し、地域住民や学生が気軽に立ち寄れる拠点として再生させることで、地域の担い手を育成し、継続的なまちづくり活動を支える基盤を形成することを目的としている。

拠点運営者の一員である、奥越スパイス研究会との協働は拠点形成型大学連携まちづくり事業として「拠点運営に関心を持つ地域住民・民間事業者との協働体制の構築」および「担い手育成」の実現に最も適した事例として位置づけられる。同研究会は、地域食材やスパイスを通じて地域資源の新たな価値創出を行う民間団体であり、横町スタジオにおける活動や、エリアマネジメント事業「ダイサン」（旧持ち寄る日）での継続的出店などを通じて、地域住民や横町編集部との関係を築いてきた。こうした継続的な協働が、春日通りラボにおける拠点運営の協働相手として適合していた。整備に際しては、大学がこれまで担っていた技術支援や事業計画策定を、地域主体が自ら行えるよう伴走支援を実施した。改修費の見積り、事業計画や補助金申請書の作成など、技術的・事業的両面での支援により、地域プレイヤーの拠点運営能力を高めることができた。その結果、事業は補助金採択に至り、大学伴走による民間運営の拠点形成モデルが具体化した。

本事例は、大学が地域と協働して拠点整備を行う段階から、大学が伴走しながら、地域が主体的に運営・再生を担う段階へと移行する過程を示している。奥越スパイス研究会との協働を通じ、地域での実践力を持つ民間団体を育成し、大学連携を通じた人材育成と持続的な拠点運営モデルの両立を実現した点に意義がある。

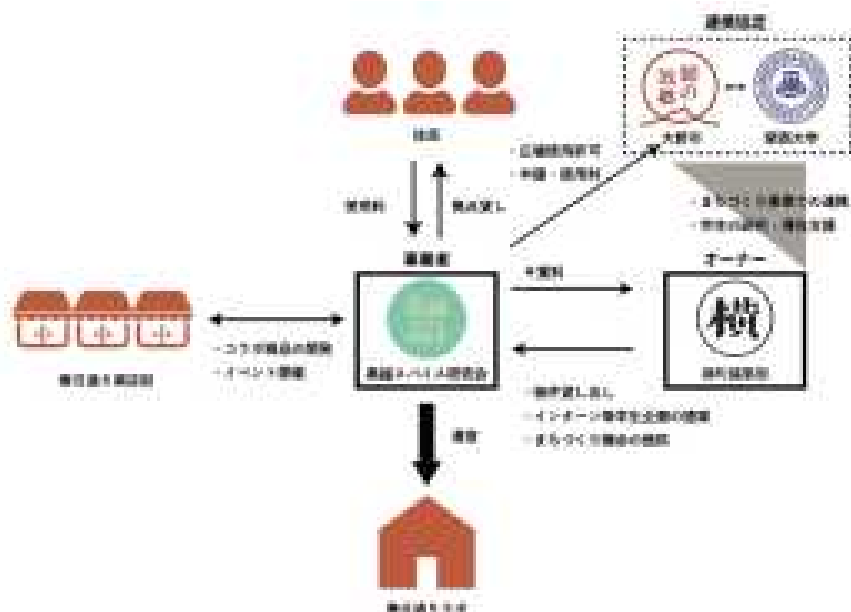


図 春日通りラボ運営スキーム

3-2.拠点間連携による城下町エリアの回遊創出と「ダイサン」の展開

大野市中心市街地の城下町エリアでは、横町スタジオや春日通りラボをはじめとする複数の拠点が形成され、地域住民や民間事業者を中心とした活動が展開されている。これらの拠点を面的に連携させ、地域全体の魅力向上と回遊性の創出を目的として実施されているのが、エリアマネジメント事業「ダイサン」である。

「ダイサン」は、横町スタジオで毎月第3土曜日に継続的に行われていた「持ち寄る日」を前身とする取組である。「持ち寄る日」では、住民参加型のアップサイクルマルシェ兼チャレンジショップを開催し、毎月第3土曜日に拠点を開放することで、地域住民に横町編集部活動を認知してもらい、気軽に立ち寄れる関係性の構築を目指した。また、同じ日には城下町エリア内の他拠点でもイベントやワークショップが行われ、参加者がその流れで横町スタジオを訪れるなど、拠点間を移動する人の動きが生まれ始めていた。こうした自然な回遊の兆しを受け、令和7年度から、毎月第3土曜日に、城下町エリア内で複数拠点が住民に対してオープンする形へと再編されたものが「ダイサン」である。本事業において、横町編集部は、全体調整および広報面での支援を担い、拠点同士の連携強化を推進した。その結果、来訪者が複数拠点を巡る回遊的な滞在動線が形成された。一方で、広報は依然として拠点ごとに運用されており、今後は複数拠点を統合的に発信する体制の整備が求められる。

本取組は、「持ち寄る日」による毎月の定期的な拠点のオープンから、「ダイサン」による地域全体の協働へと発展したプロセスを示している。すなわち、大学連携によって生まれた活動が、地域主体によるエリアマネジメントへと展開していく過程を実証する事例として位置づけられる。



図 「ダイサン」参加事業者一覧

3-3.民間との協働を基盤とした大学連携事業の展開

本大学連携事業は、これまで大野市と関西大学、横町編集部が中心となって推進されてきた。しかし近年、拠点運営者の活動が限定的となり、拠点運営方法の再検討、新たな拠点運営者の創出や、これまでに蓄積されたノウハウの引き継ぎが求められる時期を迎えている。一方、地域の民間事業者が大学連携事業を参考に、関係人口創出やまちづくりの取り組みを独自に展開する動きも見られるものの、これら民間主導の取り組みは、資金・環境・技術面において持続性に欠けることが懸念されており、大学・行政・地域団体がどのように関与し、継続的な実施体制を構築するかが新たな課題となっている。こうした変化を踏まえ、大学連携事業において、民間リソースの活用および協働を新たな手段として、拠点運営方法や事業の進め方を再検討することが求められている。

そこで、大学連携事業における民間との協働体制を整えるため、令和7年度から大野市と連携し、城下町エリアを対象としたエリアマネジメント型プロポーザル事業の検討を進める予定である。これは、横町編集部や大学のみが拠点運営等を実施するのではなく、地域プレイヤーと協働しながら事業を推進する仕組みを構築することを目的としており、大学連携の知的資源をエリアマネジメントに反映させる実践的試みとして位置づけられる。また、民間事業者に資金的ニーズや運用上の課題を把握するサウンディング調査の実施を大野市に提案している。

4. まとめ

人口減少が進行する地域においては、一人の住民や関係者が複数の役割を担うことが常態化しており、活動の担い手にかかる負担が大きい。そのため、拠点運営の継続や地域活動の展開が特定の個人や団体に依存しやすく、結果として活動が限定的にならざるを得ない状況が生まれている。本大学連携事業も 8 年目となり事業の拡大などにより、拠点運営の再検討や新たな担い手の創出、ノウハウの継承が求められる段階にある。一方で、こうした状況を背景に、地域の民間事業者が大学連携事業を参考にしながら、独自に関係人口創出やまちづくりに取り組む動きが生まれている。これらの活動は、地域が大学の知的資源を手がかりに自ら行動を起こすという点で重要であるが、資金・技術・環境の面で持続性に課題を抱えている。したがって、民間との協働体制を構築し、地域全体で拠点運営や活動を支える仕組みを整えることが急務となっている。本事業はこれまで、地域活動に直接関わる「実施主体」としての役割を担ってきたが、こうした人口構造の変化を受け、今後は地域が持続的に活動できる「環境を設計する立場」へと役割を転換する必要がある。大学が有する知的・人的資源を、行政・地域団体・民間事業者が共有し、それぞれの立場で活用・発展させることにより、地域が自ら学び、実践できる構造を形成していくことが求められている。その具体的な取り組みとして、令和 7 年度には、城下町エリアを対象としたエリアマネジメント型プロポーザル事業の検討を進める予定であり、併せて地域事業者を対象とした資金ニーズや運用課題のサウンディング調査を提案している。これらの取り組みを通じて、地域の多様な担い手と協働しながら、拠点運営および大学連携事業の新たな展開に向けた環境整備を目指している。本取り組みは、大学が一構成員として地域を支えるのではなく、地域が主体的に動ける環境を設計し、その活動を促す仕組みをつくる方向へとシフトしていることを示している。すなわち、人口減少型社会における地域での大学の新たな役割は、学生や民間事業者とともに「地域に関わり続けられる環境」を共創することであり、そのプロセスを通じて持続可能な地域社会の形成が促されることが期待される。

5. 資料編

写真1 4/19 横町縁日



写真2 こどもものづくり大学チラシ

横てん! 2025 年間スケジュール
こどもものづくり大学

単位を20個集めて、みんなでものづくり博士を目指そう! /

※定員：各回20名程度

- | | | | |
|-------------|--|---------------------|--|
| 4/5 | お箸づくりワークショップ
講師：横町編集部 料金：¥200
場所：横町スタジオ | | |
| 5/3 | 桜の木で編製ワークショップ
講師：INUIKAWA FUN 料金：¥500
場所：上丁生活改善センター | 11/1 | 絆隊でアロマキャンドル作りワークショップ
講師：水のがっこう 料金：¥1,000 場所：同上 |
| 6/7 | しゃぼん玉ワークショップ
講師：しもプロ 料金：¥500
場所：大手門広場 | 12/6 | 年賀状作りワークショップ
講師：大野の印刷・編集室 みなと 料金：¥500 場所：同上 |
| 7/5 | お魚づくりワークショップ
講師：INUIKAWA FUN 料金：¥500
場所：乾飯地区 ※招待制 | 1/17 | 焼き芋作りワークショップ
講師：しもプロ 料金：¥1,000
場所：横町スタジオ |
| 8/2 | タトゥーシールワークショップ
講師：大野の印刷・編集室 みなと 料金：¥300 場所：同上 | 2/7 and 3/21 | 水の結晶作りワークショップ
講師：水のがっこう 料金：¥500
場所：同上 |
| 9/6 | 木工ワークショップ
講師：大野建築組合 料金：¥1,000
場所：学びの星めいりん 園工室 | 3/21 | 4コマ漫画ワークショップ
講師：大野の印刷・編集室 みなと 料金：¥400 場所：同上 |
| 10/4 | 紙糊りで冊子作りワークショップ
講師：大野の印刷・編集室 みなと 料金：¥400 場所：同上 | | |

申し込み方法

参加をご希望の方は、横町編集部の InstagramDM または メールアドレスまで、下記4点を添えてご連絡ください。

- お申し込み ①お名前 ②参加希望日
必要項目 ③参加人数 ④参加者の年齢



yokomachi.hensyubu@gmail.com



写真3 5/3 ものづくり大学単位授与の様子



写真4 5/3 乾側地区燻製WS



写真5 6/1 アボカドキックオフ MTG



写真6 6/7 しもプロシャボン玉 WS



写真7 春日通りラボ和室改修



写真8 6/22 ふるさとミライカレッジ敷地調査



みんなの おはなし

MINNA NO MINWA

その土地には、その土地にしか生まれない物語があります。
大野の川や山、路地裏の一角には、
古くから語り継がれてきた民話が静かに息づいています。
例えば、「八間通りの医者のおはなし」「美濃喜の船のおはなし」
「十文字善助の話」…
「みんなのおはなし」は、そうした物語にふれながら、
自分たちの手で「新しいおはなし」を紡いでいく
ワークショップです。
大野の風景から、あなただけの物語を見つけてみませんか？

「民話」ってなんだろう？

6/21 10:00-12:00

講師：坪川 祥子氏 会場：みなと(大野市元町2-9)

民話が生まれる場所へ行ってみよう！

7/19 10:00-12:00

講師：乾 孝子氏 会場：下打渡

民話の舞台と同じような場所で、民話を聞いてみよう

まちを歩いて、おはなしをつくってみよう！

8/9 10:00-12:00 / 13:00-15:00

講師：沼塔浩 氏 会場：みなと(大野市元町2-9)

水窪地区を歩いて、短いおはなしを作ってみよう

おはなしを絵にしてみよう！

9/20 10:00-12:00

講師：おとしふみ 氏 会場：みなと(大野市元町2-9)

考えたおはなしから、イラストレーターさんと一緒に絵を描いてみよう

EVENT 12/20 (土)
おはなしをみんなで楽しむ

- ・ワークショップを通して生まれた物語を展示・発表
- ・大野の民話に関連したワークショップの開催

会場：みなと(大野市元町2-9)



関連イベント10/2(土) パフォーマンス「ピアノの森入り」 会場：五番商店街/COCONOアートプレイス

主催：横町編集部 yokobachi.yensyubu@gmail.com

Fukui Art Project



写真 11 7/3 乾側地区桜の木ピザづくり WS



写真 12 横町盆踊りチラシ



写真 13 福井県ワクワクチャレンジコンテスト申請書類スケッチ



写真 14 8/5 学生交流会の実施



写真 15 8/14 横町盆踊り



写真 16 8/9 民話PJ第2回WS



写真 17 8/14 雪国インターン学生受け入れ



令和7年度

横町スタジオ拠点整備・運営補助業務（その2）

報告書

令和8年2月
一般社団法人カンデ

1. プロジェクト調査票

案件名称	横町スタジオ拠点整備・運営補助業務その2	◎実施事業 ・ その他
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関わり続ける定住の拡大に向けた空き家リノベーション技術支援 2. 地元住民との協働によるものづくりワークショップの企画、広報および実施支援 3. 地元住民との協働による横町スタジオ運営団体・横町編集部活動継続および運営支援 4. 大野市城下町エリアにおける地元住民との協働によるエリアマネジメント事業の企画および実施支援 	
協働者	日吉町1区、4区、横町編集部、関西大学社会資本計画研究室、地域連携センター、大野市政策推進課、環境・水循環課、地域文化課、荒島社、奥越スパイス研究会、印刷室みなと、みんなのみんな博実行委員会、しもプロ、大野地区まちづくり推進協議会、大野公民館、オオノクリエイトクラブ、上庄小学校、Neo 朝市	
位置付け	大野市と関西大学の連携協定（平成30年6月13日に締結）に基づく事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育・文化・人材育成・福祉・地域産業・学術研究分野での協力推進 ・ 「関わり続ける定住のカタチ」の実践による「結の故郷づくり」 ・ 地域資源の調査分析と「関西大学横町スタジオ」を活用した学生・住民交流 ・ 大学の知的/人的/物的資源を活用し、協働型まちづくりを継続的に展開 ・ 学生・教員と市民の連携を通じた持続可能な地域社会の構築 	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的な自走を見据え、事業の選択と集中を実行した。現在、地域住民の主体性を尊重し、運營業務の一部について段階的な委譲に向けた協議を進めている。 ・ 上記の方針を踏まえ、令和7年度まちづくり研究活動報告会では、実際に横町スタジオを活用している市民や団体が登壇する形式とする。利用者の生の声を発信することで、活動の熱量や現場の実態を多角的に共有することを狙いとする。 	
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学空白地域に学生を再地域化するための仕組みが構築されている。 ・ 大学が自治体のまちづくりに関わり続けられる環境ができています。 ・ 地域拠点の自律的な運営モデルが面的に展開され空き家等が活用されている。 ・ 大学が整備・支援した環境で、市民の主体的な活動が展開されている。 ・ 大学発の地域団体と民間事業者の良好な連携がなされている。 	
業務期間	令和7年10月1日～令和8年1月30日	
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 横町スタジオを核としたまちづくり事業の運営支援 2. 横町スタジオを核とした協働者の月別人数の把握 3. 春日通りラボ拠点整備の技術的および事業計画の伴走支援 4. 新たな活動財源の獲得に向けた関係者との協議、および具体的な事業構想の策定 	

<p>主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ R7 年度前期（4-9 月）の協働者数は 1,399 名を記録した。これは、地域住民や関係人口による恒常的な関与を示すものであり、スタジオの活用ニーズが潜在的なものから顕在化しつつあることを示唆している。 ・ この実績値により、今後の利用実態や連携メカニズムを解明するための十分な分析母数が確保されたため、次フェーズである詳細なポテンシャル調査へと円滑に移行できるものとする。 ・ 大学連携を起点とした空き家利活用の支援体制を実証し、民間主体による拠点整備を進めた。 ・ 住民協働に向けた次期フェーズにおける中核的な財源・事業として総務省みらいカレッジを位置づけ、戦略的な提案策定を行った。申請に向け、関係者との合意形成を図るとともに、本拠点の強みを活かした独自の事業モデルを企画・立案し、採択に向けた体制を整えた。
<p>主な課題と今後の進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【R7～R8：ポテンシャル分析と連携モデルの調査】 これまでの横町スタジオにおける市民・民間・団体の活用実績および潜在ニーズを分析し、同拠点のポテンシャルを可視化する。併せて、多様な活動主体が有機的に連動するための仕組みについて調査・検討を行う。 ・ 【R9～R10：運営スキームの構築と多主体連携の確立】 上記調査を踏まえ、他団体が円滑に参画・活動できる運営スキームを策定し、実証展開を繰り返す。最終的に、大学連携まちづくりが多様な主体の参画によって自律的に運営される体制の確立を目指す。
<p>連携事業に反映する内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり研究報告会の開催概要の整理

2. 実施状況

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	児童 生徒	学生	合計
受託研究	全体設計	10	8	定例会議				
		10	3	横町編集部 定例	4			4
		10	10	経費月締め				
		10	14	その1業務報告書作成				
		10	17	一般社団法人カンデ理事会				
	拠点活用 サークル支援	10	12	Neo朝市活動支援		4		4
		10	19	大野高校学生活動		4		4
		10	20	大野高校学生活動		4		4
		10	29	一般シルクスクリン利用	3			3
		10	18	横町縁日	30			30
		10	14	月刊「のーのー」運用の打ち合わせ	2			2
		10	21	月刊「のーのー」11月号発行				
		10	1	水族館サークル水換えの日		1		1
		10	8	水族館サークル水換えの日		1		1
		10	15	水族館サークル水換えの日		1		1
10	22	水族館サークル水換えの日		1		1		
10	29	水槽入れ替え作業（うなぎ）	2			2		
2号物件立ち上げ 支援	改修事業	10	8	改修WS打ち合わせ				
		10	18	改修WSチラシ作成				
		10	18	改修WS実施	5			5
エリア マネジメント	都市から ミズまで	10	8	めいりん花壇寄せ植え	3			3
		10	10	大野ほりでいに向けた屋台制作				
		10	29	出前授業		30		30
三菱みらい 財団	基本構想	10	30	予算申請承認				
	プロジェクト 支援	10	11	学生滞在3人*4泊			12	12
		10	11	みなとチーム 打ち合わせ	2		3	5
		10	11	みなとチーム 七間楽市視察など	1		3	4
10	25	みなとチーム 打ち合わせ	2		2	4		
ふくいSDGs	横もも大学	10	4	紙刺繍WS		9		9
		10	26	水のがっこうWS打ち合わせ				
福井県アートPJ	民話調査	10	4	ピアノの嫁入りWS	120	30		150
		10	15	みんなのみんなわ 打ち合わせ	2			2
		10	22	みんなのみんなわ 打ち合わせ	4			4
		10	28	みんなのみんなわ 打ち合わせ	4			4
		10	29	季刊ブンカ取材	5			5
その他		10	5	自治会BBQ	42			42
		10	11	しもプロ チラシ作りWS	5	6		11
		10	20	まちFUNまつり打ち合わせ				
		10	29	おとしぶみさん シルクスクリーン利用	3			3
		10	30	廃屋 旭寮新聞打ち合わせ	3			3
合計					242	91	20	353

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	児童 生徒	学生	合計
受託研究	全体設計	11	5	定例会議				
		11	10	経費月締め				
		11	12	連携協議会	5			5
		11	14	その1業務報告書作成				
		11	30	シンポジウム論文執筆				
	拠点活用 サークル支援	11	5	Neo朝市活動支援		4		4
		11	8	Neo朝市活動支援		4		4
		11	15	横町縁日	22			22
		11	21	月刊「のーのー」12月号発行				
		11	5	水族館サークル水換えの日		1		1
		11	12	水族館サークル水換えの日		1		1
		11	19	水族館サークル水換えの日		1		1
	2号物件立ち上げ 支援	改修事業	11	8	大家さんとの下水道設置にかかる協議			
11			18	水道屋さん現調対応				
11			18	改修WS実施	10			10
11			29	改修設計打ち合わせ				
エリア マネジメント	都市から ミミズまで	11	16	大野ほりでいにてジュニアリーダーと出店	40		6	46
		11	16	ジュニアリーダーWS、国際WS打ち合わせ				
三菱みらい 財団	基本構想	11	30	地域再生、アボカド比較調査方針取りまとめ				
	プロジェクト 支援	11	1	学生滞在2人*3泊			6	6
		11	7	学生滞在6人*3泊			18	18
		11	8	みなとチーム 出店準備	2		5	7
		11	9	みなとチーム 七間楽市出店	2		5	7
ふくいSDGs	横もも大学	11	1	理科実験WS	9		2	11
福井県アートPJ	民話調査	11	5	みんなのみんなわ 打ち合わせ	4			4
		11	12	みんなわプロジェクト県と相談	5			5
		11	13	みんなのみんなわ 打ち合わせ	5			5
		11	19	地域文化課補助金相談	3			3
		11	20	みんなのみんなわ 打ち合わせ	4			4
		11	21	福井県主催アート茶会に登壇	11			11
その他		11	1	集住研究会視察	2			2
		11	6	三号物件調査（城町）	3			3
		11	18	かつやまさわやか大学にて出張講義	160			160
		11	12	廃屋 旭寮新聞 高梨さんにヒアリング	2			2
		11	22	オープンバイソン 出店/旭寮新聞発刊	3		3	6
		11	20	まちFUNまつり打ち合わせ	3			3
合計					297	12	45	354

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	児童 生徒	学生	合計
受託研究	全体設計	12	3	定例会議				
		12	10	経費月締め				
		12	10	シャッター修繕				
		12	14	まちFUNまつり	11			11
		12	19	一般社団法人カンデ理事会				
	拠点活用 サークル支援	12	13	Neo朝市活動支援		10		10
		12	13	しもプロ,乾側FUNと交流会	12			12
		12	20	横町縁日(みんわ博と合同開催)				
		12	21	月刊「のーのー」12月号発行				
		12	24	月刊「のーのー」打ち合わせ	2			2
		12	3	水族館サークル水換えの日		1		1
		12	10	水族館サークル水換えの日		1		1
		12	17	水族館サークル水換えの日		1		1
	12	24	水族館サークル水換えの日		1		1	
12	24	日吉町一区餅つき大会	22	6		28		
2号物件立ち上げ 支援	改修事業	12	24	春日BAR実施	4		4	
12		24	ラボ既存図面の作成					
エリア マネジメント	都市から ミミズまで	12	13	ジュニアリーダーWS	2	5		7
		12	25	上庄小学校WS打ち合わせ	3			3
三菱みらい 財団	基本構想	12	21	最終報告会	10		38	48
ふくいSDGs	横もも大学	12	6	年賀状作りWS	2	8	7	17
		12	13	INUIKAWA FUNとの来年度WSの打ち合わせ	4			4
福井県アートPJ	民話調査	12	3	みんなのみんなわ 打ち合わせ	4			4
		12	3	観光ビューロー 打ち合わせ				
		12	10	みんなのみんなわ 打ち合わせ	4			4
		12	17	福井新聞,県民福井取材	2			2
		12	19	みんなのみんなわ 前日準備	6			6
12	20	みんなのみんなわ博開催(延べ500名程度)	450	50	7	507		
その他		12	10	三号物件 大家さんと意見交換	2			2
		12	17	みらいカレッジ打ち合わせ				
合計					540	83	52	675

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	児童 生徒	学生	合計	
受託研究	全体設計	1	14	定例会議					
		1	10	経費月締め					
		1	16	一般社団法人カンデ理事会					
		1	22	関西大学先端科学技術推進機構シンポジウム	32			32	
		1	25	日吉町1区新年会	28			28	
			1	17	横町縁日(みんなわ博と合同開催)	8	15		23
			1	20	DIY利用	2			2
			1	21	月刊「のーのー」2月号発行				
			1	25	月刊「のーのー」題字mtg	2		5	7
			1	7	水族館サークル水換えの日		1		1
			1	14	水族館サークル水換えの日		1		1
			1	21	水族館サークル水換えの日		1		1
			1	28	水族館サークル水換えの日		1		1
2号物件立ち上げ 支援	改修事業	1	17	春日BAR実施	4			4	
		1	29	水道屋との打ち合わせ					
		1	31	給排水設備にかかる打ち合わせ					
		1	31	土間改修WSチラシ作成・配布					
エリア マネジメント	都市から ミミズまで	1	17	大野公民館ジュニアリーダーシルクWS	2	5		7	
		1	21	上庄小学校で出前授業	4	40		44	
ふくいSDGs	横もも大学	1	17	焼き芋WS	4	15		19	
		1	21	結晶づくりWS打ち合わせ					
福井県アートPJ	民話調査	1	5	みんなのみんなわ振り返りmtg	4			4	
		1	14	みんなわZINE打ち合わせ	2			2	
		1	15	みんなわ事業次年度打ち合わせ	8			8	
		1	28	みんなわZINE打ち合わせ	3			3	
その他		1	13	ビューローシルク貸し出し					
		1	16	地域再生シンポジウム資料作成打ち合わせ					
		1	21	みらいカレッジ打ち合わせ					
		1	29	三号物件清掃、設備調査					
合計					103	79	5	187	

3. 業務の成果

3-1. こどもものづくり大学の成果

本事業の経緯は、R5年度に実施した全5回のワークショップにある。当時は「手に産業を取り戻す」を掲げ、ごみ循環や照明などの社会課題をテーマとしたが、内容の高度さと抽象度が児童の関心と乖離する課題が残った。この反省に基づき、R6年度(R6)は遊びから入るアプローチへと転換した。勉強としての社会課題解決ではなく、まずは純粋な「工作の楽しさ」をフックにすることで児童の没頭を生み出し、その延長線上に学びを配置し直した。これが「こどもものづくり大学」の基本設計である。

本年度の最大の成果は、大野市教員が主宰する「オオノクリエイトクラブ」との戦略的な協働にある。現在、部活動の地域移行が叫ばれる中、スポーツや音楽になじめない児童にとっての第3の選択肢が不足している。本事業は、同クラブに所属する小学4年生～中学3年生(約30名)をコアメンバーとし、毎月第1土曜日を定例活動日として習慣化した。結果、単発のイベント参加ではなく、継続的なコミュニティとして定着し、毎回10名～数10名の参加者が集うものづくり好きの居場所が形成された。

運営体制においては、横町編集部が企画支援、備品の貸し出しや広報等の企画支援を担い、事務局として機能した。

R6年度は「26回・556名」という圧倒的な量で地域のポテンシャルの掘り起こしを行った。対してR7年度は、月1回の定期開催とカリキュラム化により、質と習慣の形成へシフトしている。参加費は材料費相当に抑えつつ、講師謝礼は事務局から支出。余剰利益は備品購入等へ再投資する好循環が実現している。また、本事業では「スタンプを集める」仕組みを導入し、継続参加へのモチベーションを設計した。

横町編集部 2025 年間スケジュール
こどもものづくり大学
 \ 単位を20個集めて、みんなでものづくり博士を目指そう! /
 ※定員：各回20名程度

4/5	お箸づくりワークショップ 講師：横町編集部 料金：¥200 場所：横町スタジオ	11/1	福袋作りワークショップ 講師：おののこ 料金：¥1,000 場所：同上
5/3	紙の木で建築ワークショップ 講師：INUKAWA FUN 料金：¥500 場所：上丁生活改善センター	12/6	年賀状作りワークショップ 講師：大野の印刷・編集室 みもと 料金：¥500 場所：同上
6/7	しゃぼん玉ワークショップ 講師：しもプロ 料金：¥500 場所：大平町広場	1/17	焼き芋作りワークショップ 講師：しもプロ 料金：¥1,000 場所：横町スタジオ
7/5	お魚づくりワークショップ 講師：INUKAWA FUN 料金：¥500 場所：豊前地区 ◎招待制	2/7	氷の結晶作りワークショップ 講師：おののこ 料金：¥500 場所：同上
8/2	夕トワールワークショップ 講師：大野の印刷・編集室 みもと 料金：¥300 場所：同上	3/21	4コマ漫画ワークショップ 講師：大野の印刷・編集室 みもと 料金：¥400 場所：同上
9/6	木工ワークショップ 講師：大野印刷組合 料金：¥1,000 場所：学びの泉めぐり人 図工室	10/4	紙で遊んで粘土作りワークショップ 講師：大野の印刷・編集室 みもと 料金：¥400 場所：同上

20個集めてものづくり博士の称号をゲット!
 入学者にはオリジナルの卒業証書が送られます。

※お申し込みは、横町編集部のInstagram DMまたはメールアドレスまで、下記4点を添えてご連絡ください。
 ①お申し込み ②お申し込み日 ③お申し込み先 ④お申し込み内容
 yokomachi.hensyubu@gmail.com

R7年度ものづくり大学の年間実施チラシ

R6 年度（昨年度）活動実績詳細

年間総実施回数: 26 回（当初予定より 14 回増）,総参加者数: 556 名程度

テーマ：都市からミミズまで（循環と協働）

連携パートナー	活動テーマ・内容	実績詳細
大野地区まちづくり推進協議会	【循環型社会の実践】 給食残渣の堆肥化、県産材活用、緑道カフェ運営	全 11 回 （木造模型、モルック、ベンチ製作、味噌汁作り 等）
上庄小・乾側ファン・下庄 P	【記憶の継承と環境】 廃校（乾側小）の桜の木伐採・活用、広場活用	全 6 回 （製材体験、しゃぼん玉、シルクスクリーン 等）
横町編集部（直営）	【脱炭素と創造性】 廃材・自然素材のアップサイクル	全 6 回 （廃瓶風鈴、廃材燻製、残反タオル、チーズ作り 等）
編み物を愛する会	【余剰資源の利活用】 家庭の余り糸活用、被災地寄付	全 3 回 （指編み、塗り絵）
合計		全 26 回 / 参加者 556 名

R7年度こどもものづくり大学 カリキュラム一覧

テーマ：ものづくり博士を目指そう（定着と習慣化）

年間総実施回数: 12回,総参加者数: 200名程度（26年.2月時点）

実施月	ワークショップ内容	講師・連携先	実施状況
4月	お箸づくりワークショップ	横町編集部	9名
5月	桜の木で燻製ワークショップ	INUIKAWA FUN	12名
6月	しゃぼん玉ワークショップ	しもプロ	60名
7月	PIZZAづくりワークショップ	INUIKAWA FUN	30名
8月	タトゥーシールワークショップ	印刷室 みなと	12名
9月	木工ワークショップ	大野建築組合	14名
10月	紙刺繍で冊子作りワークショップ	印刷室 みなと	9名
11月	野草でアロマウォーター作り	水のがっこう	11名
12月	年賀状作りワークショップ	印刷室 みなと	17名
1月	焼き芋作りワークショップ	しもプロ	19名
2月	水の結晶作りワークショップ	水のがっこう	7名
3月	4コマ漫画ワークショップ	印刷室 みなと	3/21 予定
		全 12 回 / 参加者 200 名	

3-2. 春日通りラボ改修における技術支援

3-2-1. 春日通りラボ改修事業

春日通りラボ改修事業は、2号物件を対象に、地域の拠点としての活用を見据えた段階的な改修を行う事業である。本事業では、建物の改修そのものを目的とするのではなく、改修プロセスを通じて地域住民や民間事業者が拠点運営や活用に主体的に関われる体制を構築することを重視している。改修にあたっては、既存建物の状況把握を行い、必要な改修内容や給排水計画等について検討を進めたうえで、技術的・事業的な伴走支援を実施した。また、改修過程では、住民参加型の改修ワークショップや、拠点の使い方を検証する社会実験を複数回実施し、建物のハード整備と並行して、将来的な拠点活用の可能性を検討した。

3-2-2. 業務内容

- ・ 拠点改修にかかる技術的助言
既存図面、提案図面作成での技術的助言
- ・ 拠点活用にかかる企画助言
改修ワークショップ、拠点活用検討にかかる助言
- ・ 打ち合わせの実施、参加
提案図面作成、WS実施にかかる打ち合わせの実施・参加
- ・ 事業全体マネジメント
拠点改修事業にかかるスケジュール管理、進捗管理
- ・ 備品貸出
WS等実施の際の備品貸出

3-2-3. 業務実績

技術支援により、既存図面、給排水工事検討図面の作成を行なった。改修WSは3回実施し、計15名参加。拠点活用を検討するための春日BARは、2回実施し、計8人参加。

3-2-4. 実施内容詳細

名称	改修ワークショップ②		場所	春日通りラボ	
実施	10/18 10時-12時	参加	一般3名,児童2名	業務時間	2時間
内容	春日通りラボの改修。住民との協働による前面柱部分の塗装。				
技術支援	ワークショップ実施にかかる企画助言、打ち合わせ、スケジュール管理、工具貸出、広報支援。				
写真					

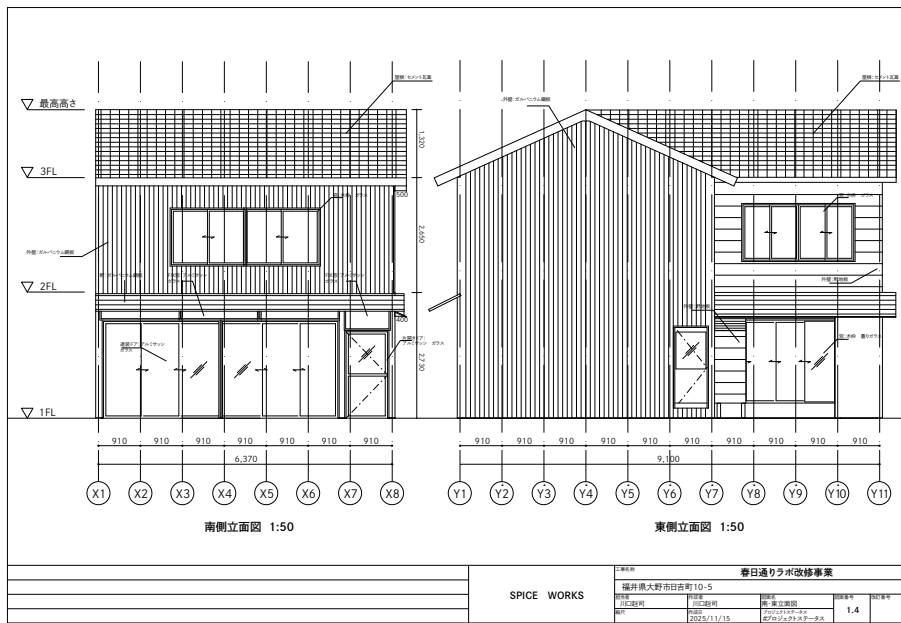
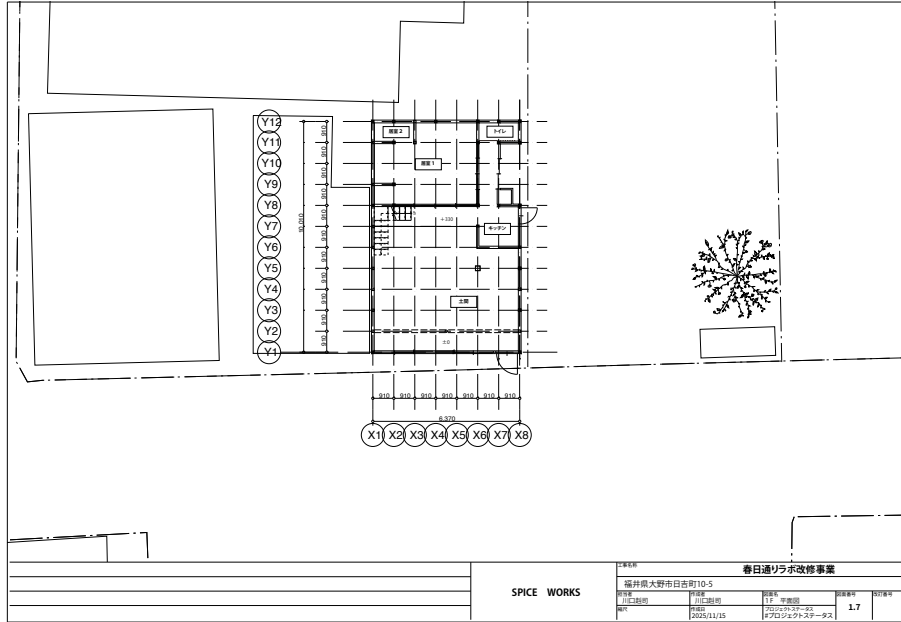
名称	改修ワークショップ③		場所	春日通りラボ	
実施	11/15 10時-15時	参加	一般10名	業務時間	5時間
内容	春日通りラボ活用検討のための社会実験。建物前面に屋台を配置し、奥越スパイス研究会のカレー弁当を販売。				
技術支援	ワークショップ実施にかかる企画助言、打ち合わせ、スケジュール管理、備品貸出。				
写真					

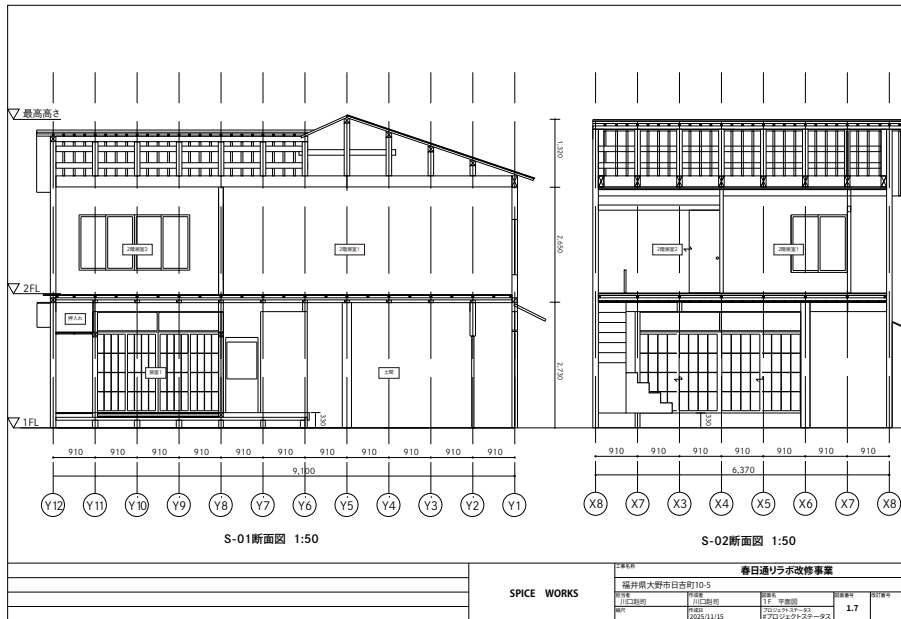
名称	春日 BAR		場所	春日通りラボ	
実施	12/24 17時-20時	参加	一般 4名		業務時間 3時間
内容	春日通りラボの使われ方を検証する社会実験。春日通りラボを隔週で少し飲めて、食べられる場所として定期的に開放する。				
技術支援	ワークショップ実施にかかる企画助言、打ち合わせ、スケジュール管理、備品貸出。				
写真					

名称	春日 BAR		場所	春日通りラボ	
実施	1/17 17時-20時	参加	一般 4名		業務時間 3時間
内容	春日通りラボの使われ方を検証する社会実験。春日通りラボを隔週で少し飲めて、食べられる場所として定期的に開放する。				
技術支援	ワークショップ実施にかかる企画助言、打ち合わせ、スケジュール管理、備品貸出。				
写真					

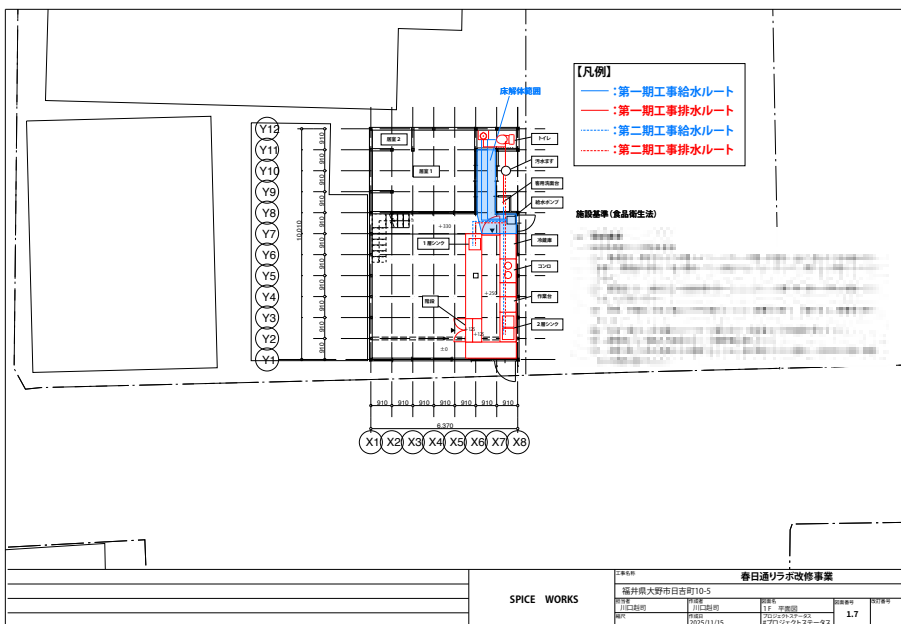
・ 成果品

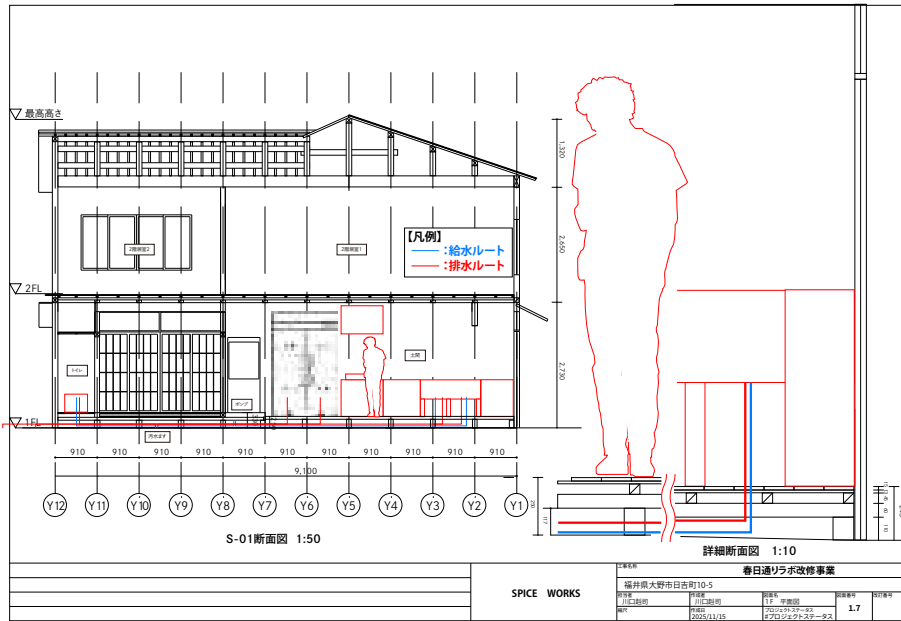
春日通りラボ既存図面





給排水工事に係る検討図面





改修 WS チラシ

1. 解体ワークショップ

第1回
2/14 | 土 |

第2回
2/21 | 土 |

2. 壁塗装ワークショップ

第1回
3/14 | 土 |

第2回
3/21 | 土 |

講師の詳細決まり次第
随時、更新します!!

土間 改修 ワークショップ

参加費無料・事前予約不要

開催場所 |



※駐車場は市役所など付近駐車場をご利用ください

主催 | 奥越スペース研究会 | 協力 | 横町編集部
お問い合わせ | takeshi3kawa01@gmail.com

10/5 日吉町一区 BBQ 大会 @横町スタジオ



10/20 地元高校生の DIY 支援 @横町スタジオ



10/4 こどもものづくり大学 紙刺繍 WS @印刷室みなと



11/9 アボカド学生のイベント出店 @大野市七間通り



11/1 アロマウォーターWS @水のがっこう



11/16 大野地区ジュニアリーダーとハーブティカフェの運営 @大野公民館



12/14 まち FUN まつりに大野市職員,学生と出店 @関西大学



12/20 みんなのみんなわ事業 @大野市城下町一帯



1/17 上庄小学校環境学習出前授業 @上庄小学校



1/17 大野地区ジュニアリーダーとシルクスクリーンWS @大野公民館



令和7年度

横町スタジオ拠点整備・運営補助業務（その3）

報告書

令和8年3月
一般社団法人カンデ

1.プロジェクト調査票

案件名称	横町スタジオ拠点整備・運営補助業務その3	◎実施事業 ・その他
協働者	日吉町1区/4区、横町編集部、関西大学社会資本計画研究室、地域連携センター、大野公民館、乾側 fun、月刊のーのー制作チーム、みんなのみんな実行委員会	
位置付け	・ 大野市と関西大学の連携協定（平成30年6月13日に締結）に基づく事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育・文化・人材育成・福祉・地域産業・学術研究分野での協力推進 ・ 「関わり続ける定住のカタチ」の実践による「結の故郷づくり」 ・ 地域資源の調査分析と「関西大学横町スタジオ」を活用した学生・住民交流 ・ 大学の知的/人的/物的資源を活用し、協働型まちづくりを継続的に展開 ・ 学生・教員と市民の連携を通じた持続可能な地域社会の構築 	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度(2月時点)の本事業の協働者は、一般延べ2,185人、児童・生徒延べ586人、学生延べ338人、合計延べ3,111人であった。 ・ 以上の数値的成果に対して、活動の社会的価値を報告するために、報告会は横町スタジオを起点とした市民の活動発表を設けた。 	
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学空白地域に学生を再地域化するための仕組みが構築されている。 ・ 大学が自治体のまちづくりに関わり続けられる環境ができています。 ・ 地域拠点の自律的な運営モデルが面的に展開され空き家等が活用されている。 	
業務期間	令和8年2月1日～令和8年3月15日	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関わり続ける定住の拡大に向けた空き家改修および運営事業 技術支援 ・ 関西大学まちづくり研究報告会の企画運営支援 ・ 「月刊のーのー」作成事業 印刷費および制作支援費 	
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生や協働する市民の受け皿として、三号物件の開発の検討を開始した。 ・ R7年度まちづくり研究報告会では、市民からの発表の場を設ける試みを実施し、協働する市民プレイヤーのリアルな声が聞ける場となった。 ・ 「月刊のーのー」は、市民が作成する媒体に移行して2年が経過し、イベントの開催や地元の中高生との連携など独自の発展を遂げている。 	
主な課題と今後の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二号物件はR8年6月開設を目標とする。 ・ 三号物件はR8年4月から運営開始と並行して事業の位置付け等を整理・検討し、R8年9月開設の目標とする。 ・ 次年度の報告会は、大野市、市民、大学の三者でパネルディスカッションの場を設定し、参加者が議論に入りやすい進行および会場構成とする。 ・ 「月刊のーのー編集部」や「奥越スパイス研究会」を事例に、他団体が円滑に参画・活動できる環境整備・体制づくりの実践をする。 	
連携事業に反映する内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が発表する報告会の開催について 	

2.業務期間の実施状況

2025年度 実施状況

項目	事業内容	月	日	実施状況	一般	児童 生徒	学生	合計
受託研究	全体設計	2	4	定例会議				
		2	10	経費月締め				
		2	15	関西大学技苑提出				
		2	20	一般社団法人カンデ理事会				
		2	21	報告会会場設営				
		2	22	関西大学まちづくり研究報告会	33		1	34
	拠点活用 サークル支援	2	16	ワークステイ受け入れ(2泊3日)			3	3
		2	21	月刊「のーのー」3月号発行				
		2	28	のーのーびらき開催(1日目)	6		4	10
		2	4	水族館サークル水換えの日		1		1
		2	11	水族館サークル水換えの日		1		1
2		18	水族館サークル水換えの日		1		1	
2号物件立ち上げ 支援	改修事業	2	5	保健所への相談				
		2	5	市内飲食店の水道設置事例の視察				
		2	5	塗装WSの打ち合わせ				
		2	7	春日持ち寄りBAR	2			2
		2	14	解体WS①	5			5
		2	21	解体WS②	1			1
		2	25	水道屋の現場打ち合わせ				
		2	25	電気屋との現場打ち合わせ				
		2	28	DIY利用			1	
2	28	設計検討打ち合わせ						
エリアマネジメント	都市からミミズまで	2	18	上庄小学校シルクスクリーンWS	50	6	1	57
ふくいSDGs	横もも大学	2	7	結晶づくりWS	3	8		11
福井県アートPJ	民話調査	2	2	みんなZINE: 編集会議	3			3
		2	15	みんなZINE: チーム座談会収録	5			5
		2	25	みんなZINE: 和田さん取材	2			2
		2	25	福井県アートプロジェクト事前相談会	3			3
その他		2	5	三号物件水道調査				
		2	9	みらいカレッジ打ち合わせ(関西大学)				
		2	9	みらいカレッジ打ち合わせ(大手前大学)				
		2	11	みらいカレッジ打ち合わせ(桑原氏)				
		2	12	みらいカレッジ打ち合わせ(大阪音大)				
		2	15	みらいカレッジ打ち合わせ(大手前大学)				
		2	21	みらいカレッジ打ち合わせ				
		2	22	三号物件清掃				3
合計					113	18	10	143

3.関西大学まちづくり研究報告会

今年度は、新たに市民からの報告の時間を設けた。本章では、この経緯とまとめを報告する。

令和7年度 関西大学まちづくり研究報告会

令和8年2月22日(日) 午後1時～午後3時
場所：横町スタジオ

一 次 第 一

- 1 開会
- 2 挨拶
・関西大学 環境都市工学部 教授 北詰恵一
- 3 研究報告
 - (1) 中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通による人の動きの変化に関する分析
発表者：環境都市工学部・社会資本計画研究室 教授 北詰恵一
社会資本計画研究室 酒井佑斗
 - (2) 令和7年度に横町編集部が実施したまちづくり事業の活動報告
発表者：横町編集部、(一社)カンデ 三浦紋人
- 休憩
- 4 横町スタジオを起点とした地域と大学の協働による住民の活動報告
 - (1) 地域を横から見る住民主体のメディア「月刊のーのー」の活動報告
発表者：横町編集部 木村有希
 - (2) アートによる担い手育成事業「みんなのみんなわプロジェクト」の活動報告
発表者：大野の印刷・編集室みなと 山本響
 - (3) 乾側地区の街路樹を次の公民館へ「桜の木利活用プロジェクト」の活動報告
発表者：乾側FUN 飯田圭祐
 - (4) 関係人口創出の現場から「雪国インターン」の活動報告
発表者：大野市地域おこし協力隊 川口起司
- 5 総括
・大野市地方創生アドバイザー 内海朋基
・大野市地方創生アドバイザー 楠見晴重
- 6 閉会 (終了後、交流会(希望者のみ))

3-1.開催の要点

今年度は、従来の大学からの一方的な報告から脱却し、大学と市民の協働を主軸に据えた構成へと変更して実施した。

これまでの報告会	R7年度以降の報告会
研究室ごとの報告	研究室+横町で活動する市民
主に学生,教授による研究報告	研究報告+まちづくり活動報告
市民と協働した活動は取りまとめて報告	協働した市民が報告
1年間の大学の活動を報告	1年間の大学と市民の協働を報告
発表20分,質疑10分/研究室*3研究室+ゲスト1名	研究全体の現状報告(北詰,三浦)+研究室*1,市民の活動10分/人*数名
市役所もしくは結とびあ	横町スタジオ

3-2. 今年度の反省・改善点（実施結果）

上記方針で開催した結果、以下の成果と課題が挙げられた。

【評価された点】

会場の雰囲気: 横町スタジオでの開催により、昨年よりも発表者と来場者の距離感が良く、会場の雰囲気が向上した。

外部評価: アドバイザー(内海氏)からも「非常に良かった」との高評価を得た。

【会場・設営の課題】

・視認性の悪さ: 土間部分やスクリーンの端に立つと、後方席から発表者が見えない。

改善案: 発表位置をスクリーン右側(水槽側)にするか、座敷に上がって行う。

・座席配置: 後方の椅子席からは見えにくい場合がある。

改善案: スクリーンに近い前方は座布団席にして収容人数を増やし、後方を椅子席とする。

・施設利用トラブル: 飲酒した参加者によるトイレの汚損が発生し、苦情に繋がった。

【運営・進行の課題】

・配信音声: 質問者がマイクを使わないと配信で音声が拾えない。

改善案: 発表者が質問を復唱する、またはワイヤレスマイクを準備する。

・役割分担: 当日の動きが曖昧な部分があった。

改善案: 事前に明確な役割分担を決め、不足時は他職員へ依頼する。

・オンライン配信: 設営の負担、録画データの管理、参加申込が2年連続1~3名であったことから記録および配信の方法を変更したい。

改善案: zoomでのオンライン配信を廃止し、当日の記録はビデオで記録する。後日、録画データをYouTube配信する。

・講評順: アドバイザー2名の場合、内海氏を最後にするのが望ましい。

【交流会の課題】

市民の参加を期待したが、結局関係者のみの集まりとなってしまった。

予定外の飲酒が始まり、断れない状況やトイレの汚れ等のトラブルに繋がったため、あり方の見直しが必要である。

3-3. 次年度の開催方針（案）

今年度の反省を踏まえ、次年度は市民参加型の双方向なコミュニケーションを重視した構成へ変更する。

□基本構成

- ① 研究報告の実施（大学・研究者）
- ② 市民からの報告を実施（市民）
- ③ パネルディスカッション（市民 × 大学関係者）

□運営のポイント

リアルタイム質疑応答（QRコード活用）

・会場でQRコードを提示し、Webフォーム等を通じてリアルタイムで質問・感想を収集する。挙手制の心理的ハードルを下げ、より多くの声を拾う。

□パネルディスカッションへの展開

収集した質問や感想をテーマに、第2部としてパネルディスカッションを行う。

一方的な発表で終わらせず、寄せられた声を元に議論を深める。

□飲食の提供について

パネルディスカッション中などに一般参加者へドリンクやお菓子を配布し、カジュアルで話しやすい雰囲気作りを行う。

4. まとめ

令和7年度は、一般延べ2,185人、児童・生徒延べ586人、学生延べ338人、合計延べ3,111人という極めて多くの協働者に支えられて展開された。大学連携事業としては足掛け8年を迎え、横町スタジオが単なる施設整備の枠を超え、多様な主体が協働する地域の拠点として数値的な成果が上がり始めている。他方、当初から大事にしている市民主体のまちづくり等、社会的価値が伴った数値的成果であることは特筆したい。

4-1. 報告会の転換

こうした厚みのある活動実態を背景に、今年度の報告会では従来の大学からの一方的な報告を脱却し、大学と市民の協働を主軸に据えた構成へと変更した。新たに設けた市民発表の時間は、実際に活動を共にする当事者の生の言葉によって、報告会全体に強いリアリティをもたらした。

この試みを通じて、市民が抱く地域で活動する大学のイメージに明確な変化が見られた。大学はもはや、単に学生と教員が研究・教育を行うだけのクローズドな機関ではなく、単なる教える／教わるの関係を越え、地域課題の渦中に共に身を置き、悩みながら伴走するパートナーである。横町編集部が掲げる「地域の横に立つ」という活動スタンスが市民の口から語られたことは、大学が地域に関わり続けるための独自の立ち位置が確立されつつあることを示す、象徴的な出来事であった。

4-2. 自律的な運営モデルの確立に向けて

今回の報告会で得られた知見と課題を糧に、今後は以下のロードマップに従い、さらなる深化を目指す。

- ・【R7～R8：ポテンシャル分析と連携モデルの調査】

これまでの横町スタジオにおける市民・民間・団体の活用実績および潜在ニーズを分析し、同拠点のポテンシャルを可視化する。併せて、多様な活動主体が有機的に連動するための仕組みについて調査・検討を行う。

- ・【R9～R10：運営スキームの構築と多主体連携の確立】

上記調査を踏まえ、他団体が円滑に参画・活動できる運営スキームを策定し、実証展開を繰り返す。最終的に、大学連携まちづくりが多様な主体の参画によって自律的に運営される体制の確立を目指す。

5.資料編

2/22 関西大学まちづくり研究報告会の様子



2/22 関西大学まちづくり研究報告会の様子（市民発表）



2025 5月号 vol.41



坂本均さん



大野で活動する人に話を聞きました!

大野のまちを横から見る... 大野のまちを横から見る... 大野のまちを横から見る...

5月 月間予定表

月刊のーのーを作っている横町編集部と大野の印刷・編集室などの活動予定をご紹介します!

Calendar table for May with dates and event details like '水曜日 水権水替えの日'.

月刊のーのーって?

『月刊のーのー』は、関西大学の研究拠点「横町スタジオ」を運営する横町編集部が発行するおたよりです。

横町スタジオを使ってみませんか?

コワーキングスペースでお仕事したり、自分で企画したイベントを開催してみたり、DIYでものづくりしたり...



yokomachi.henshyubu@gmail.com

のーのーNEWS

空



空 3月22日に大野市役所主催の空き家活用セミナー「空き家×宿×旅」が開催され、横町編集部も話題提供や案内などを行いました。

集



集 4月4日に横町スタジオにて仮の木からお箸をつくるワークショップが行われました。

横で一緒に自然を面白がること



自然は誰にどうも面白くない... 参加者の身のつきまじりや、歩き出しの足音、草の匂い...



「無理に、参加者の方向を面白くする」... 参加者の方向を面白くする...



「無理に、参加者の方向を面白くする」... 参加者の方向を面白くする...

おたより求ム! 読者投稿コーナーへのおたよりをお待ちしております。

投稿コーナー 気まぐれ 投稿10本... 横から矢張り! 投稿10本

おたより求ム! 読者投稿コーナーへのおたよりをお待ちしております。

おたより求ム! 読者投稿コーナーへのおたよりをお待ちしております。

2025 6月号 vol.42



奥越スパイス研究会

スパイス好きによる、スパイス好きのためのサークル

【奥越スパイス研究会って?】
Q1 どんな経緯で発足したのですか?
Q2 普段はどんな活動をしていますのしょうか?
Q3 どんなカレーを作っていますか?

6月 月間予定表

月刊の1を作っている横町編集部と大野の印刷・編集室みなとの活動予定をご紹介します!

Table with 2 columns: Date (6/7, 6/21, 6/28) and Event Name (水曜水替えの日, しゃぼん玉ワークショップ, 環境フェア, 印刷室オープン日). Includes details like location and time.

横町編集部の予定 大野の印刷・編集室みなとの予定

月刊の1を作っていますか?

「月刊の1」は、関西大学の研究拠点「横町スタジオ」を運営する横町編集部が発行するおたよりです。「まちを横から見る」というコンセプトで、「1の1」の人話にかけながら、毎月いろんな大野を紹介しています。読み手である大野の人と一緒に作ることを大切にしているため、まちづくりや、編集・デザイン等に関心がある人はぜひご連絡ください!

横町スタジオを使ってみませんか?

コワーキングスペースでお仕事したり、自分で企画したイベントを開いたり、DIYでものづくりしたり... 横町スタジオは、いろんな過ごし方ができる場所。ピンときた方はご連絡を!



yokomachi.hensyubu@gmail.com

発行日: 2025年5月21日 編集: 横町編集部(キムコキキ) 発行所: 横町スタジオ(大阪府吹田市) Email: yokomachi.hensyubu@gmail.com

の1-NEWS

つくることを身近に、楽しく!
4月20日に、大野の印刷・編集室みなとでZINE作りワークショップ「みんなで作る1冊つくってみよう」が開催されました。ZINEとは、個人が自主的に出版する冊子や印刷物のこと。1冊作るにはハードルが高いので、まずは1pだけ作るという方が、このワークショップの主旨。同じ場所に集うことで、お互いに触れ合えたらいいなというアイデアが出ました。6-7月は、1人1冊作るワークショップを実施予定です。興味がある方はチェック!

桜の木を使って 燻製ワークショップ
5月3日に、乾例地区で桜の木を使った燻製ワークショップが開催されました。この日は横町編集部主催「横でんこどもづくり大学」の一環でもあり、ものづくり大学への入学式も実施。当日は、地域おこし協力隊の玉井真さんによる桜の木にまつわるクイズが自然、お茶には、桜の木を使った燻製器でスモークした食材と、乾例産のお米と手作りのお味噌汁でお昼ご飯を囲み、なんとGWらしい1日でした。

おたより求む! 川柳 写真 絵 今月の投稿 短歌 横から失礼! 投稿コーナー

メンバー紹介: 中村信吾さん, 佐々木優木, 加瀬司. Q. あなたがスパイスにはまったきっかけを教えてください. Q. スパイスやカレー作りのどんなところが楽しいですか? Q. 自分をスパイスに例えると何だと思いますか? Q. カレー作りで大切にしていることランキングTOP3を教えてください. Q. あなたにとってカレー作りを一言で表すと? Q. 奥越スパイス研究会でどんなチャレンジをしたいですか?

大野のまちを横から見る
月刊の〜の〜
 2025年7月号
 vol.43



大野の夏を「音」で盛り上げる！
 おおの城まつり生演奏隊
 「音人（おんど）」って？

生演奏で残したい
 祭りの曲を
 大野でかき鳴らす方法
 横断のパートを
 横断でやるの？

大野のまちを横から見る。今から19年前の2006年6月21日、2007年6月21日、2008年6月21日、2009年6月21日、2010年6月21日、2011年6月21日、2012年6月21日、2013年6月21日、2014年6月21日、2015年6月21日、2016年6月21日、2017年6月21日、2018年6月21日、2019年6月21日、2020年6月21日、2021年6月21日、2022年6月21日、2023年6月21日、2024年6月21日、2025年6月21日。大野のまちを横から見る。今から19年前の2006年6月21日、2007年6月21日、2008年6月21日、2009年6月21日、2010年6月21日、2011年6月21日、2012年6月21日、2013年6月21日、2014年6月21日、2015年6月21日、2016年6月21日、2017年6月21日、2018年6月21日、2019年6月21日、2020年6月21日、2021年6月21日、2022年6月21日、2023年6月21日、2024年6月21日、2025年6月21日。

7月 月間予定表

月刊の〜の〜を作っている横町編集部と大野の印刷・編集室みなとの活動予定をご紹介します！

毎週水曜	水曜水替えの日 場所：横町スタジオ 時間：12:00-13:00 内容：横町水替えメンバーが水曜の水替えを行います	7/19 (土)	旧野田自転車店 改修 WS 場所：旧野田自転車店 内容：大野の印刷・編集室みなと 時間：10:00-15:00 内容：床はり WS ※変更の可能性あり
7/5 (土)	ピザ作りワークショップ 場所：牧野公民館 時間：10:00-12:00 内容：ピザ窯でみんなでピザを作ってみよう！	7/19 (土)	印刷室オープン日 場所：大野の印刷・編集室みなと 時間：10:00-15:00 内容：予約不要の印刷ワークショップあり！
7/5 (土)	印刷室オープン日 場所：大野の印刷・編集室みなと 時間：10:00-15:00 内容：予約不要の印刷ワークショップあり！	7/26 (土)	印刷室オープン日 場所：大野の印刷・編集室みなと 時間：10:00-15:00 内容：予約不要の印刷ワークショップあり！
7/12 (土)	印刷室オープン日 場所：大野の印刷・編集室みなと 時間：10:00-15:00 内容：予約不要の印刷ワークショップあり！	7/27 (日)	横町スタジオ8周年イベント 場所：横町スタジオ 時間：18:00 内容：祝8周年！これまでの活動紹介や交流発表を予定中。
7/19 (土)	横町録日 場所：横町スタジオ 時間：10:00-15:00 内容：編集室イベント研究会のカレーや、純ちゃん商店のお菓子を販売		

月刊の〜の〜って？
 横町スタジオを使ってみませんか？
 コワーキングスペースでお仕事したり、自分で企画したイベントを開催してみたり、DIYでものづくりしたり...横町スタジオでは、いろんな過ごし方ができる場所。ピンときた方はご連絡を！
 yokomachi.hensyubu@gmail.com

発行日：2025年6月21日 編集：執筆：カノウチ・山本響 演奏協力：木村和宏 撮影制作：玉木だいり 印刷：大野の印刷・編集室みなと 発行：横町編集部 〒912-0051 福井県大野市日吉町1-7(横町スタジオ) / Email:yokomachi.hensyubu@gmail.com

よこ話、わき話、まわり道。
の〜の〜NEWS
 第3土曜日はまちなかへ！

これまで横町スタジオでは「持ち寄り日」や「録日」として第3土曜日を誰でも立ち寄れる日として、毎月開催してきました。お野菜が並ぶ日もあれば、カレーが出たり、内容は毎月さまざま。そんな賑やかな第3土曜日が6月から、まちなかエリアに拡大しました！印刷室みなとなど歩いてまわれるエリア内で立ち寄れる拠点が5箇所になりました。

3つ通りのエリア
 ⑩10:00-15:00 大野の印刷・編集室みなと
 ⑩9:00-16:00 水のがっこう
 ⑩10:00-15:00 横町スタジオ
 ⑩10:00-15:00 旧野田自転車店
 ⑩8:00-17:00 OCOONOアートプレイス

メンバーのみなさんの声を聞きたい！ということで、音人で活動している方々に声を聞いていただきました。

みんなが楽しそうに踊ってくれるのが喜び
 SNSでの募集をきっかけに音人になりました。ほんの少しの時間でもいから毎日練習することを心がけています。音人をやっていると嬉しいことは、自分分の演奏で、城まつりに参加している人たちが楽しそうに踊ってくれること。民謡独特の節回しの声の出し方も唄い手としての面白さです。大野の夏を一緒に盛り上げましょう！

寺島美穂さん
 ・職業：美容師
 ・音人歴：7年
 ・担当パート：唄い手

最初は難しければ、やっぱり楽しい
 「生演奏で城まつりを盛り上げよう！」という話が出た時に声をかけてもらって加入しました。いろんな曲を経験すると普段の演奏の弾きやすさや表現が変わるので、城まつりの曲以外の曲も弾いて練習しています。職業もバラバラな仲間と演奏できることは音人の魅力です。最初は難しく感じますが、唄い手や唄う人たちの楽しそうな姿を見ると「やっぱり楽しい！」と思えます。

鈴木 直人さん
 ・職業：工場勤務
 ・音人歴：9年
 ・担当パート：三味線

いろんな行事で演奏して活動を広めたい
 友人の誘いがきっかけで入りました。練習では、音の高さが合っているかを音で確認したり、苦手な部分をゆっくり弾くことで慣れてるようになっています。全体練習では、夏の本番が近づいてくれば他のパートの方との音合わせにも参加して音人の活動を広めたいです。興味のある方は、ぜひ気軽に声をかけてください！

柴田みどりさん
 ・職業：会社員
 ・音人歴：6年
 ・担当パート：笛

未経験からでも、民謡は始められる！
 城まつり実行委員の方からの誘いがきっかけで加入しました。民謡は、演奏のペースとなるリズムを掴むので、リズム感を養うために民謡で曲をずすと聴いています。音人の魅力はやはり未経験から気軽に始められるところ。「民謡」に敬語が強いイメージを抱く方もいらっしゃいますが、ほとんどの方が未経験から始めているので、ぜひ気軽に声をかけてください！

山田祐希さん
 ・職業：学生
 ・音人歴：9年
 ・担当パート：太鼓

おたより求む！
 読者投稿コーナーへのおたよりお待ちしております。基本的にはなんでもウェルカムです。投稿いただいたおたよりは、月刊の〜の〜で紹介させていただきます。横町スタジオに設置されているおたより箱または右記の二次元バーコードから投稿してください。

川柳 写真 絵
 今月の投稿 短歌 横から失礼！
 気まぐれ投稿コーナー

班回覧

大野のまちを横から見る

月刊の〜の〜

2025

9月

vol.45



インターン生が横町盆踊りの歴史と地域の声を徹底調査！



インターン生の様子

今年も開催される横町盆踊り。盆踊りは歴史が深く、地域に根ざった文化の一つ。その歴史や地域性について、今年もインターン生4名が徹底調査を行いました。今回は、その調査結果をレポートします。

盆踊りは、古くは「盆」に「踊り」として呼ばれていました。盆は、お盆の時期に、先祖の霊を慰めるために踊られるものでした。盆踊りは、お盆の時期に、先祖の霊を慰めるために踊られるものでした。

盆踊りは、お盆の時期に、先祖の霊を慰めるために踊られるものでした。盆踊りは、お盆の時期に、先祖の霊を慰めるために踊られるものでした。

9月 月間予定表

月刊の〜の〜を作っている横町編集部と大野の印刷・編集室みなとの活動予定をご紹介します！

毎週水曜	水槽水替えの日 場所：横町スタジオ 時間：17:00-18:00 内容：横町水換えメンバーが水槽の水替えを行います	横町盆踊り	場所：横町スタジオ 時間：10:00-15:00 内容：奥越スバイス研究会のカレーや、横町ちゃん農園のお野菜を販売
9/14 (日)	COCONO 企画展 WS 場所：COCONO アートプレス 時間：13:00-15:00 内容：まちなを歩いてチラシをつくり印刷までやってみよう！	木工WS	場所：有終小学校 時間：10:00-12:00 内容：兼巻組合の大王さんに学ぶ木工体験ワークショップ
9/20 (土)	みんなのみんなわ WS 場所：大野の印刷・編集室みなと 時間：10:00-12:00 内容：みんなで作った民話をもとに絵を描いてみよう！	ミチトキテン	場所：郡上市合併記念公園 時間：10:00-20:00 内容：郡上市でのイベントに奥越スバイス研究会が出店
9/20 (土)	印刷室オープン日 場所：大野の印刷・編集室みなと 時間：13:00-15:00 内容：予約不要の印刷ワークショップあり！		

月刊の〜の〜って？

「月刊の〜の〜」は、関西大学の研究拠点「横町スタジオ」を運営する横町編集部が発行するおたよりです。「まちを横から見る」というコンセプトで、「の〜の〜」と人に話しかけながら、毎月いっしょに大野を紹介していきます。読み手である大野の人と一緒に作ることを大切にしているため、まちづくりや、編集・デザインに関心がある人はぜひご連絡ください！

横町編集部 Instagram

横町スタジオを使ってみませんか？

ワーキングスペースでお仕事したり、自分で企画したイベントを開いたり、DIYでものづくりしたり...横町スタジオは、いろんな過ごし方ができる場所。ピンときた方はご連絡を！

yokomachi.henshyubu@gmail.com

発行日：2025年8月21日 編集：横町編集部 インターン生・キムワケ 電子制作：玉木だいり 印刷：大野の印刷・編集室 みなと 発行：横町編集部 〒912-0051 福井県大野市日吉町1-7(横町スタジオ) / Email:yokomachi.henshyubu@gmail.com

の〜の〜NEWS

よこ道、わき道、まわり道。

ま ちを歩いて 民話を作ってみました！
8月9日に「みんなのみんなわ」ワークショップの第3回目を開催しました。テーマは「まちを歩いて、お話を作ってみよう！」。水落地区を歩いて見つけた、たぬきの置物や水路に落ちた缶コーヒー、植物の緑に覆われた家などからお話が生まれました。民話は、声に出して話すことで伝わる物語。文字にしたものを声に出して読んでみることで面白さが増すような感覚を体験できました。次回の9月20日は、作ったお話を絵にしてみます！

大 学生たちが 大野で滞在学習！
8月は、関西大学をはじめ、県外の大学生たちが大野に滞在しながらインターンシップやフィールドワークに動いていました。初めて会った学生同士の仲が深まるのは、やはり共同作業。1日の活動が終わった後にスタジオに集まって一緒に夜ご飯を作ったり、横町盆踊りの祭りの準備で協力したり...。今回の滞在をきっかけに、また来年の盆踊りに遊びにきてくれたらと願うばかりです。

横町盆踊りアンケート調査！

横町盆踊りアンケート調査の結果を発表します！

Q1. 世代を教えてください！

1位 10-20代 18人
2位 30-40代 14人
3位 50-60代 13人

Q2. どこに住んでいますか？

1位 大野市 28人
2位 福井県内(大野以外) 11人
2位 県外 11人

Q3. 横町盆踊りの参加は何回目ですか？

1位 初めての参加 23人
2位 2-4回 20人
3位 5回以上 8人

Q4. どの盆踊りが好きですか？

1位 大野音頭 29人
2位 シュッポいんぽ 10人
3位 神子おどり 4人

おたより求む! 川柳 写真 絵 今月の投稿 短歌 横から矢札?

読者投稿コーナーへのおたよりをお待ちしております。基本的にはなんでもウェルカムです。投稿いただいたおたよりは、月刊の〜の〜で紹介させていただきます。横町スタジオに設置されているおたより箱または右記の二次元バーコードから投稿してください。

気まぐれ投稿コーナー

灯の通もろり

インターン生として初めて見た大野の景色と横町盆踊りに感じたことを投稿しました。

総評

私たちは「月刊の〜の〜」を通して、大野の魅力を伝えるだけでなく、大野の人々とのつながりを築きたいと考えています。毎月、大野の人々と一緒に作ることを大切にしているため、まちづくりや、編集・デザインに関心がある人はぜひご連絡ください！

2025 11月 月号
vol.47

ないものは作ればいい！
ものづくりの秋、到来。



裏面へGO!

あらゆる物がネットやお店で手軽に買えてしまうこの時代に、あえて自分で作ってみる。必要性に駆られたものづくりだけでなく、心の奥底に眠っている私たちの「作りたい欲」を満たすものづくりは、ある意味でもっとも賢い行為なのかもしれません。今月は「ものづくりの秋特集」ということで、大野の中で生まれているものづくりシーンを取り上げます。ないものは「買う」ではなく「作る」。そんな選択肢を持たれたら、暮らしがより豊かに、面白くなるかもしれません。

11月 月間予定表

今月の予定をご紹介します！
※詳細は各拠点の担当者まで問い合わせください。

- 毎週水曜** 水曜日 水曜日 17:00-18:00@横町スタジオ
- 1日 (土)** アロマ作りWS 10:00-12:00@水のがっこう・10時～11時～2部制 ※申し込みは横町編集部@instagramまたは水のがっこう(TEL)まで
- 2日 (日)** 七間ハロウィン 9:00-15:00@七間通り
- 15日 (土)** 【だいさん】横町縁日 10:00-15:00@横町スタジオ 別荘スペース研究会のカーニバル
- 15日 (土)** 【だいさん】印刷室オープン日 10:00-15:00@みなと 予約不要の印刷WSあり!
- 15日 (土)** 【だいさん】改修WS 10:00-15:00@春日通りラボ ※汚れても良い服装で参加ください
- 16日 (日)** 大野ほりてい 終日@学びの里めいりん
- 23日 (日)** みなと1周年イベント① 時間未定@みなとWSを開催予定
- 24日 (月・祝)** みなと1周年イベント② 時間未定@みなと トークイベントを開催予定

横町編集部の予定 春日通りラボ (旧野田自転車店) の予定 大野の印刷・編集室 みなとの予定

月刊の～の～って?

月刊の～の～は、関高大学の研究拠点「横町スタジオ」を運営する横町編集部が発行するおたよりです。「まちを横から見る」というコンセプトで、「の～の～」と人に話しかけながら、毎月「みなと大野」を紹介し、読み手である大野の人と一緒に作ることを大切にしているのだから、まちづくりや、編集・デザイン等に関心がある人はぜひご連絡ください!

横町スタジオを
使ってみませんか?

ワークスペースをお仕事したり、自分で企画したイベントを企画してみたり、DIYでものづくりしたり...横町スタジオは、いろいろな過ごし方ができる場所。ピンときた方はご連絡ください!
yokomachi.henshyubu@gmail.com

発行日: 2025年10月21日 編集・執筆: キムラコキ、山本智 発行協力: 木村裕美 監字制作: 玉木だいご、印刷: 大野の印刷・編集室 みなと 発行/横町編集部 〒912-0051 福井県大野市白鳥町1-7(横町スタジオ) / Email: yokomachi.henshyubu@gmail.com

クリーンセンターへ 行く 行こう の～の～NEWS

さ ばえまつりで、大野の「つくる」を展示
9月27～28日に福井県鯖江市で開催された「さばえまつり」に、大野の印刷・編集室みなとが出店しました。今年から始まった「みんなのみんな」の展示のほか、印刷所で生まれたZINE(個人が作る自由形式の小冊子のこと)の販売を実施。会場となった西山公園中が祭りの音にまぎれ、足を止めてくれる方もチラホラ。大野の中で生まれている「つくる」を、市外の人にも見てもらう貴重な一日になりました。

紙 刺繍でオリジナルノート作り
10月4日に大野の印刷・編集室みなとで紙刺繍ワークショップを開催しました。最初に好きな表紙を選び、針と糸で刺繍をした後、ミシンでページを縫って仕上げ、同じテンプレートを使っても、糸の選び方や組み合わせ、ペンの絵付けで個性が出るのも面白いポイントでした。中には学んだ技術を応用して恐竜の模様を刺繍する人も、紙に絵を描くときはペンを使うことが多いですが、針と糸で刺繍をするという選択肢が加わりそうです。

おたより求む! 川柳 写真 絵
読者投稿コーナーのおたよりをお待ちしております。基本的にはなんでもウエルカムです。投稿いただいたおたよりは、月刊の～の～で紹介させていただきます。横町スタジオに設置されているおたより箱または右記の二次元バーコードから投稿してください。

今月の投稿 秋の祭りに 身も心燃ゆ (総勢10名)
あれだけ練習、裏を繕ると、秋の祭りがより輝いてます。投稿者

短歌 夏祭りに 気運に燃やして 投稿者

横から失礼? 気まぐれ 投稿者

「こんな家具が欲しい」の願いを叶えられる木工DIY。ミニチュアは、仕上げに塗料を塗って自然な風合いに。
10/21 こどものづくり大学 木工ワークショップより
木 ミニチュア
ものづくりタイプ
▼特に発揮される力
釘打力
▼ここが楽しい!
工具を使いこなせるようになること

大野のまちを歩き、推しポイントを紹介するチラシ作り。「そこに注目するのさ!」という発見が他者と一緒に作るワークショップの醍醐味。
9/14 OCOON7アーティスツワークショップより
紙 まちのシネマ
ものづくりタイプ
▼特に発揮される力
まちの観察力
▼ここが楽しい!
みんなが作成したチラシを眺める時間

イトヨの星のイトヨ守り隊がシルクスクリーンでシャツを自作! 枚数丹精込めて糊つたTシャツは愛着が湧きそうです。
10/21 イトヨの星 イトヨ守り隊 シルクスクリーンワークショップより
布 オリジナルTシャツ
ものづくりタイプ
▼特に発揮される力
段取り力
▼ここが楽しい!
糊に凝った時の気持ちよさ

とある美人の一下、組み立てた。その瞬間、心は「よし、よし」と思った。そして、その瞬間、心は「よし、よし」と思った。そして、その瞬間、心は「よし、よし」と思った。

人生いろいろ。ものづくりもいろいろ。
いろんなものづくりがあるけれど、作るものによって必要な力は千差万別。難しそに見えても、いざやってみたら眠っていた意外なスキルが発揮されるかも! 自分に合うものづくりを探してみませんか?

2026 2月号 vol.50

大野の冬、君はどう乗り越える？



大野のまちに今年も雪の季節が到来。今年ほどだけ降るのだろうか、この時期になるとソワソワします。大野に長く住んでいる人も、市外から移住してきた人も、それぞれの方法で大野の冬を乗り越えているはず。ウィンタースポーツなどの楽しみもある一方で、冬の厳しい高面を皆さんどう対処しているのでしょうか。今号は50号目ということで、雪国を乗り越えるためのライフハックを50個集めてみました。明日からマネできるものがきっとあるはず！

裏面へGO!

2月 月間予定表

今月の予定をご紹介！ ※詳細は各拠点的担当者まで問い合わせください。

Table with 2 columns: Date (横/縦) and Event Name/Details. Includes events like 'Water Tank Replacement Day', 'Ice Crystal Making Workshop', and 'Yokomachi Open House'.

横=横街編集部の予定 春=春日通りラボ(旧野田自転車店)の予定 大=大野の印刷・編集室みなとの予定

news

関西大学で、年に1度の出店!

12月13日にまちFUNまつりin関西大学2025に、大野チームで出店しました。出店は、大野のどんちゃん、奥越スペース研究家のカレー、横街編集部のシルクスクリーン体験の3本立て、クリスマスを控えた時期ということで、全身サンタに扮したメンバーも。サントさん!と記念写真を撮りに駆け寄ってきた子どももいました。出店を行うと、お客さんの反応を直に受け取れるので、毎度勉強になります。



月刊の〜の〜って?

「月刊の〜の〜」は、関西大学の研究拠点(横街スタジオ)を運営する横街編集部が発行するおたよりです。「まちを横から見る」というコンセプトで、「の〜の〜」と人に話しかけながら、毎月いろんな大野を紹介しています。読み手である大野の人と一緒にすることを大切にしているので、まちづくりや、編集・デザインに関心がある人はぜひご連絡ください!

横街スタジオを使ってみませんか?

コワーキングスペースでお仕事したり、自分で企画したイベントを開いたり、DIYでものづくりしたり...横街スタジオは、いろんな過ごし方ができる場所。ピンと来た方はご連絡を! yokomachi.henshyubu@gmail.com

人間関係 知恵いろいろ 編集後記 楽しみ 気まぐれ 投稿コーナー

マインド 重要 雪かき 身のことなし 服装 車

